⑥ 結婚応援ボランティアの募集・育成

・ ふれ愛ながの婚活「夢先案内人」(個人登録):累計登録者数:672人。サポーター(イベントに出席):6～7人

・ 夢先ゴールドパートナー(企業・団体登録):登録企業数:19社

事業費:1,442千円

⑦ 【新規】結婚新生活支援事業補助金

住宅取得費用、住宅リフォーム費用、引越し費用などの一部に補助金を交付

対象世帯:夫婦共に39歳以下かつ世帯所得500万円未満

補助上限額:夫婦共に29歳以下60万円、それ以外30万円

事業費:23,400千円(うち国交付金:20,000千円)

● 若者のライフデザイン形成支援

⑧ ライフデザインゼミ

市内高校、大学等を対象に、結婚・子育てを含む将来のライフデザインについて考える機会を提供するセミナーなどに講師派遣

事業費:700万円

⑨ 社会人ライフデザインセミナー「N-カジ」の開催

対象:長野市在住、在勤及び長野市に移住を希望する20～35歳程度の独身男女

定員:各回40人

内容:お金のライフプラン、ワーク・ライフ・バランスセミナーなど【全3回】

事業費:1,124千円

⑩ ライフデザイン冊子配布

信州大学と連携し、学生9名がワークショップからの学びをまとめた冊子を作成(事業費(令和4年度):1,500～1,600千円)

総事業費:39,103千円

となっている。

この事業の他に、女性(若年層)の県外流出率高い(＊県「移動人口の男女・年齢等集計」(H27))や地方移住を希望する独身女性が多い:4割以上(＊内閣府「東京在住者の移住に関する意向調査」(H26))などの要因への対

応として、連携中枢都市圏結婚支援事業(移住婚活ツアー)を行っている。

現在の長野市の人口は、2000年(H12)をピークに減少を続け約367千人(R5・6・1住民基本台帳)であるが、第5次『総合計画』には、合計特殊出生率を1.65に設定し、2060年に人口30万人を維持したいとしている。そのために、第2次『男女共同参画基本計画』や『こども子育て支援事業計画(ＫＰＩ：重要業績評価指標)』を定めている。

だだ、子ども未来部が窓口ではあるが、なかなか思うようには進捗しておらず、アピール方法としてセミナーなどは映像化した方が効果的かな？いかにしたら地域密着となるのか？最近の若者の出会いの場の変化など、苦慮されており、試行錯誤の様子であった。

最近の適齢期の男性は女性に対して経済力を、女性は男性に対し容姿を期待する傾向があるとのこと、興味深く伺った。

【第３日目】

視 察 先：上田市役所

視察項目：人口減少・少子化対策プロジェクト

～ 少子化対策地域評価ツールの活用について ～

議会事務局のタケムラ次長とシンドウさんにお世話になり、政策企画部政策企画課の堀内補佐と谷口さん(女性)から説明を受ける。

上田市は、平成18年に4市町村の新設合併により新市が誕生した。

令和6年1月1日の人口は152,484人であるが、令和27年の社人研の将来人口推計によると127,843人となっている。

第2次上田市総合計画・後期まちづくり計画において6つの施策大綱を定め、それを横断する形で特に重点的に取り組む5つの視点を「重点プロジェクト」として位置付けており、その一つが「人口減少・少子化プロジェクト」である。

後期まちづくり計画に掲げるＫＧＩ(重要目標達成指標)は、令和7年将来目標人口を15万人以上、令和2年が1,39である合計特殊出生率を令和22年に1,80程度(令和32年に2.07程度)まで上昇させることを目標にしている。

上田市の人口減少の現状は、

・ 平成12年をピークに減少
・ 出生数と死亡数の差が年々拡大
・ 晩婚化(年齢階級別出生ピークが25～29才→30～32才に移行)
・ 全国数値よりは低いが、全国傾向と同様に未婚率が増加
・ 合計特殊出生率1.52で長野県1.57を下回っている(H30)

そこでの課題として、

・ データ分析による少子化原因の分析ができていない
・ 少子化対策について部局横断的な検討・実施体制がない

ことへの目標として

2022年度：・庁内横断組織の構築
・データ分析
・対応策の方向性の検討

2023年度：・具体的な施策の検討(既存事業の見直しを含む)
・実施計画への登載と予算要求
・ゼロ予算事業の実施

2024年度～(将来)：・事業実施
・事業の検証

少子化の狭義の課題としては、結婚・出産・子育てなどがあり、広義には、住居・勤務(仕事・雇用)などが対象となる。そもそも地域アプローチによる少子化対策とは、多くの分野にまたがり、地域によって異なるということで、

・ 結婚・出産・子育てに関する課題を明確化
・ オーダーメード型の取組
・ 分野横断的に展開

を地域アプローチする時、内閣府の「少子化対策地域評価ツール」は、その進め方を示したもので、

1．部局横断的な検討体制の構築
2．客観的指標の分析による地域特性の見える化
3．主観調査による地域特性の把握
4．地域の強み・課題の分析
5．対応策の検討

の順で行う。

部局横断的な検討体制としては、庁内の政策研究センターと政策企画部政策企画課が事務局を担い、メンバーとしては同部の広報シティプロモーション課、市民まちづくり推進部：移住交流推進課、人権男女共生課、健康こども未来部：健康推進課、子育て・子育ち支援課、保育課、商工観光部：商工課、地域雇用推進課、教育委員会：学校教育課から構成されており、役職・性別に偏りが出ないようにプロジェクトメンバーを抽出しているとのことであった。（県もオブザーバーとして出席）

- メンバーの問題意識の共有：メンバーの少子化対策や市の強み・課題の『イメージ』確認をしておいたことが、のちの分析に効果的であった。
- 現状の棚卸：プロジェクトメンバーに各課で行っている少子化対策について照会し、事務局で施策の整理

次に、客観的指標分析であるが、

- 「地域評価指標のひな型」で地域特性や出生に関する特徴を把握（その他、全国的な統計数値から市の特徴（市の人口ビジョン・RESAS 等々）、地域評価指標のひな型のために集めたデータからも深堀
- 要因仮設：上田市の特徴

例えば・人口の自然増減：未婚率は低い（結婚する人は多い）

⇒結婚仮設：市内居住、市内通勤が多く出会いが多い？

・第一子出産：結婚から第一子の結婚期間が長い

⇒不妊治療が弱い？　仕事が忙しい？

・第二子以降の出産が少ない

⇒ローンが負担？　地域コミュニティやPTA が忙しい？　子どもは一人で良い？

などとレーダーチャートや指標などを使って可視化

３段階目の主観調査は、前項での要因仮設について、既存主観の調査の確認を行い、市ワークショップで主観調査方法等を検討し、仮設検証をするため市独自のアンケートを行った。その結果

- 理想の子ども数：有配偶者の理想の子ども数は多い

⇒ 理想数を実際には持つことができない理由がある

・ 有配偶者の子どものいない理由

⇒ 教育費用が高い

・ 子どものいる人の「結婚後、時間をおいて第一子が欲しいと考えた理由」

⇒ 夫婦の時間を大事にしたかった

・ 第一子を産んだ上で、第一子のみで良いと考えている理由(第二子以降の出産をあきらめた理由)

⇒ 教育・育児費用が高い

⇒ 高齢のため(第一子の出産が遅い)

などなど、そこで第４段階の地域の強み・課題の分析でも、縦軸に賑わい・生活環境、家族・住生活、地域・コミュニティ、医療・保健環境、子育て支援サービス、働き方・男女共同参画、経済・雇用などの項目。横軸に時間軸：出会い・結婚＋就職、第一子出産、第二子以降出産などを項目とした表を作り、

第５段階としての対応策の検討として『上田市民のペルソナ象(典型的な人物像)』を設定した。それにより、施策の方向性が定まってきた。

例えば、人口の自然増減に関する強みとして、理想の子ども数は多い⇒『理想の子ども数を実現する上田市！』

方策として、第一子出産へは「夫婦の時間を大事にしたい」への対応を、第一子の出産が早くなれば、第二子以降「高齢のため」と諦めることもなくなる・・・はず(女性の平均初婚年齢 28.9 歳(全国 669 位)、第一子の母平均年齢 30.4 歳(1,119 位))。

社会増減に関しては、「若者が戻ってくる上田市」を目指すとし、方策として、若者の希望の仕事・職場がある都市&あるものをＰＲ(仕事・職場があること、生活環境の良さ、子育て施策)し、希望の仕事・職場を増やすとしている。

このモデル事業で得たこととして、

・ 部局横断的な組織を構築し、少子化対策には多くの課の協力が必要との認識が持てた。

・ 市の課題や強みを感覚で捉えるのではなく、データ分析により根拠を持って捉えることができた。

・ 少子化対策の方向性を見出すことができた。

としている。

それによる事業化として、上田子出産祝金事業として令和５年４月１日以降に出産した乳幼児の養育者を対象として、第一子出生児１人 10,000 円、第二子 30,000 円、第三子以降 50,000 円と、第二子以降の出生が伸び悩んでいる結果から、段階的に金額を加算した。令和５年度の 23,000 千円は、市単独事業費とのことである。ちなみに、「少子化対策地域評価ツール」に関しては、ゼロ予算である。この内閣府の事業に採択されることにより、アドバイザー（ＮＴＴデータ）の支援も受けられ、有用であったとのことであった。また、京都府は、府内の市町村を分析しており、有効ではあるが、今回は苦労はあったが、いちからデータを作成することにより、データの背景も読み取れ・理解できたことは得難い経験であったと話された。この事業は、ボトムアップで提案したとのこと、感銘を受けた。

なぜ少子化対策を専門とするセクション（部局横断）を作ろうとしないのかと問うてみたが、国の省庁が異なるためではないかとの答えであった。

過日の本市地方創生特別委員会において小生は当局に意見として申し上げたが、本市の少子化対策について、一般的な概念の元、その場しのぎのつぎはぎ的施策が多々見られ、一貫性が無いように考えられ、現実の対象年齢像を正しく浮かび上がらせていない。そこで二番煎じかもしれないが、実際にこの手法を行ってみるべきだと強く思う。そこには、浜松の適齢期の実像が浮かび上がり、今後の効果的で実効性ある方向性と的確な施策が見えてくるだろうし、成果もついてくるように考える。

従前から感じていたことであるが、首長の選挙時の公約や課題への想い・認識・熱意により事業への取組には大いに差がつくものであり、取り組みの仕方や実効性、成果、その上での検証や次へのステップにおいて有為な影響が出るであろう。今回の上田市での取り組みは、ビルドアップであったとのことで、「少子化対策地域評価ツール」の結果を市長に報告したところ、驚いたとのことであったが、それ以上ではなかったとのこと、少しがっかりした職員お二人の表情が印象的であった。

視察報告書

報告者
創造浜松　太田　利実保

◆ 視察日程　令和６年２月５日（月）～７日（水）
◆ 視察先　　長野県松本市、長野市、上田市
◆ 視察内容

≪２/５松本市：公共交通活性化の取り組みについて≫

地方都市では車社会の中で公共交通をいかに効率よく、持続可能なものにしていくかは大きな課題。車社会とはいえ、児童生徒の通学、高齢者等の車を持たない者の買い物や通院など生活を営むうえでは公共交通はなくてはならないものである。

公共交通に関しては、赤字が当たり前で、利用者減少、路線撤退、さらに利用者減少という負のスパイラルになかなか抗えない自治体が多く、予算計上にも消極的になりがちであるが、松本市では、市民の利便性をとことん追求し、行政とバス事業者の協力のもと、持続可能な運行を目指している。

今回視察した内容は、全国初のエリア一括協定運行事業である。これは、地方公共団体と交通事業者が、運行系統、運行回数その他の実施方法に関する協定を締結し、エリア内の路線について一括して複数年にわたって運行を行う事業で、行政が主体的にエリア、運行系統・回数を設定し、路線再編や系統の新設を行っている点が特徴的と言える。協定締結前と後では予算規模が１億円ほど増加したものの、運行を維持していくことを優先し、それをもって市民の安心感につなげているとのことである。

人口減少、高齢化によって、地域交通の運営に行き詰り感が漂う中で、地域公共交通は単なる移動手段ではなく社会インフラとして位置づけ、市が主体的に関わり再編を行った。具体的には、重複路線の統合、交通空白地の解消、朝夕の増便など、これまでの複数の運行形態によるバラバラな運行を統一、慢性的な赤字状況を再構築するといった方向性のもとに取り組んだ。市民との対話も説明会を数多く重ね、業務委託により幅広く意見聴取も行ってきた。

令和２年に就任した新市長の「市民一人ひとりの移動の権利を保証し、先

進的な交通インフラを構築し、路線バスを将来にわたって維持、拡充する」という公約による部分が大きく、組織も改変し、建設部（本市では都市整備部）から独立して交通部を新たに設け、計画を所管する課、バス等公共交通を所管する課、交通安全を担当する課の３課により施策が進められている。

市長の公約ではあるものの、市民の声を大切にして、市民が利用しやすい公共交通を追求し、永続的な利用者の増加を図り、収入を増加させることで永続的なバス運行を目指すという積極姿勢は参考にしたい。

{意見等}

路線バスの利用者は近年、激減しており、採算が取れない路線は撤退が相次いでいる。浜松市でも遠州鉄道バス路線の廃止が相次ぎ、市は、廃止されることが予定された段階で、赤字分を補填して当面運行を継続してもらうか、あるいは地域バスの導入をするのか等を検討している状況にある。

民間バスの運行はもちろん民間経営の問題ではあるものの、公共交通である以上、市も主体的にその運行に関与していくことが求められる。都市計画マスタープラン、立地適正化計画などまちづくりの観点を含めて、利便性、効率性を追求していくべきである。

松本市と浜松市は共通している点がいくつかある。平成17年と22年に市町村合併を繰り返し、約1,000平方キロの広大な市域を持ち、中山間地域が７割を占め、公共交通に関してはバス会社が１社しかないことなどである。こうした意味を含め、松本市のバス路線再編という積極姿勢は参考となるのではないか。本市の場合は、市営バスを廃止した経緯があり、市が運行主体となることは難しい状況にあるものの、市民の意向を聴取して、利便性を追求した運行経路や便数などをバス事業者と協議していくことは可能なはずである。

バス運行の形態は様々であるが、民間運行のバス、市が委託する地域バスなど全体を再編することや、現在の浜松駅中心に放射線状に延びる基幹路線だけで良いのか、遠州鉄道やＪＲの各駅につながる路線も必要ではないのかなど、市民の意見を聴取し、具体策を検討していくべきと思う。いたずらに予算を増やすことは考えなければならないが、現行予算の範囲内でできることがあるのではないか。

≪2/6～2/7 少子化対策≫

昨年 12 月に内閣府がまとめた「こども未来戦略」によれば、少子化は我が国が直面する最大の危機であり、若年人口が急激に減少する 2030 年代に入るまでが状況を反転させることができるかどうかの分岐点であり、ラストチャンスであるとしている。

未婚化、晩婚化が少子化の大きな要因であることを指摘し、課題として、非正規雇用など所得や雇用への不安から将来展望を描けない、社会全体の意識・雰囲気がこどもを産み育てることをためらわせる、子育ての経済的・精神的負担感や子育て世帯の不公平感が存在することを挙げつつ、若い世代の所得を増やす、社会全体の構造・意識を変える、すべての子ども・子育て世帯を切れ目なく支援するという３つの理念を掲げている。

加えて、東京一極集中を解消すること、５割近い国民負担率を低減することが重要だと指摘する声もあるが、いずれにしても国全体で取り組むことの重要性は言うまでもない。1949 年の第一次ベビーブーム、1973 年の第二次ベビーブームを経たのち、少子化は進み、その後第三次ベビーブームは起こらず現在に至る。この間、エンゼルプラン、少子化対策基本法、次世代育成支援対策推進法などが策定されたものの、待機児童解消に重点が置かれ、少子化は進んだ。

限られた財源の中で地方自治体において出来ることは少ないが、成果を上げている自治体もある。その代表格は明石市で、給食費無料、第２子以降の保育料無料、医療費無料など子育て世帯の負担を軽減する施策を実施し、10 年以上人口増、出生率も 1.6 を超えている。出生率で言えば令和元年岡山県奈義町の 2.95 が突出している。奈義町は、5,700 人、半径２キロ以内に人口の８割が定住しているコンパクトな町であり、行政施策がしやすい環境にあることを考慮してもインパクトのある数字である。明石市と同様に医療費無料、保育料が国基準の半額、ひとり親への支援金、高校生への就学支援金など負担軽減に加え、町民同士で支え合う子育てサポート制度、住宅斡旋、就労の場の確保といった環境整備にも力を入れている。

こうした成果を上げている自治体がある一方で、多くの自治体は少子化への問題意識はあるものの、出生率の向上に結びついていない。財政規模、地理的な条件、産業構造など様々な要因が絡むため、自治体によってその手法は異なるが、今回は、長野市の結婚支援事業と上田市の地域評価ツールを視

察した。

≪2/6 長野市：少子化対策・結婚支援事業について≫

長野市の取り組みは、未婚化、晩婚化に焦点を当て、「出会いの場の創出支援」、「結婚を応援する機運の醸成」、「若者のライフデザイン形成支援」の三つを柱に、結婚支援事業を実施しているもの。婚活イベントの開催、結婚応援ボランティアの育成、結婚支援セミナーの開催、高校・大学生に結婚を含むライフデザインセミナーの開催といった一般的な事業の実施に加え、結婚支援を所管する移住推進課内にマリッジサポートデスクを設置し、会計年度職員が個別相談に応じ、結婚マッチングシステムへの登録サポートなどを行っていることが特徴としてある。登録者数は男性 180 人、女性 270 人で、これまで 140 組の交際が実現したという。

組織的に結婚支援に取り組んだ経緯は、平成 26 年に人口減少対策本部を設置したことから始まり、平成 28 年にはマリッジサポート課を創設、こども未来部から企画政策部に配置換えを行い現在に至っている。企画政策部とすることで総合的な観点での施策の実施が可能となり、中でも移住政策課の所管であるため、移住と結婚を関連付けた事業も実施できている。

≪2/7 上田市：少子化対策・地域評価ツールの活用について≫

上田市は総合計画の５つの重点プロジェクトの中に「人口減少・少子化対策プロジェクト」を掲げ、令和 2 年に 1.39 であった出生率を令和 22 年に 1.80、令和 32 年に 2.07 とすることを目指している。課題として、データ分析による少子化原因の分析ができていないこと、部局横断的な検討・実施体制がないことを捉え、令和４年度に内閣府の調査研究事業（地域評価ツールの活用促進に向けた自治体の交流機会の拡充や環境整備に係るモデル事業）に応募した。

少子化の要因は多くの分野にまたがること、地域によって異なることを前提に、自治体ごとに課題を明確にして分野横断的に施策を展開するため、その進め方を示したものが地域評価ツールである。まずは、政策企画課を事務局に子育て支援課、移住交流推進課、学校教育課など関連の部署からなるプロジェクトチームを編成、国や県のデータをはじめ市民アンケート調査などから少子化の要因を分析、仮説を立てた上で上田市民の典型的な人物像を設定し、施策の方向性を検討。

この事業を通して、部局横断的な組織を構築したことで少子化対策には多くの課の協力が必要という庁内全体の認識が持てた、市の課題や強みをデータ分析により根拠を持って捉えることができた、また、庁内において新たな課題の発見にもつながったという。今のところ新たな事業に結びついていないが、バランスよく施策を展開していきたいとのことであった。

{意見等}

少子化の本質的な問題は、国のこども未来戦略にあるように、低賃金であること、子育てへの経済的な負担感からの将来不安、さらには東京一極集中、税や社会保険料負担の重さにあり、これらを解消しない限り少子化に対する社会全体の構造や意識は変わらないように思う。異次元の少子化対策と言うように、国としてしっかりとメッセージを出し、具体的な施策とともに目途を示すべきである。

地方自治体として出来ることは、直接的には子育て世帯への負担軽減や婚活イベント、マッチングシステムなどのソフト施策に限られる。それも財政規模に応じてということになるため、自治体間で差が生じないような国の支援があっても良いのではないか。

今回視察した長野市の結婚支援事業は、本市においても数年前に実施した経緯があり、再度、来年度予算に新たな事業として予定されている。来年度の実施にあたり、事業の制度設計を確認し、長野市の事業と比較検討していきたい。上田市の地域評価ツールの活用については、これまでは漠然とした課題設定のもとでの施策立案であったが、データ分析により根拠を持って課題を捉えることができ、地域特性を見える化した上で対応策が検討できるものであり、本市においても取り組むべきと考える。

特に感じたことは、全組織的な対応である。長野市は人口減少対策本部を設置していたし、上田市は関連する部署からなるプロジェクトチームを立ち上げた。少子化の問題は様々な要因が複雑に絡み合っているため、縦割りで考えるのではなく、全庁的に考えなければ効果的なものにならない。全庁的に考えることで、これまで少子化対策とは無縁と思われていた施策であっても、他の施策と連携することで少子化対策に資することもあるのではないか。全庁的に取り組むことで、市民の意識、若者の意識を変え、地域社会全体の雰囲気を変えていかなければならない。

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 6 年 1 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	6,549円

氏名	太田一利 実保

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 6 年 2 月 13 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾 [redacted]

申請額内訳	調査研究費	3,589円	研修費		広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	2,960円

日	活動内容	行程	支出項目	私用車 距離	私用車 金額	公共交通機関 金額	有料道路 金額	駐車場 金額	タクシー 金額	備考
4	会派勉強会について協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480	〃				
14	オーガニック給食について勉強会	山東～浜名区本沢合～山東	調査	17	629	〃				
25	公共交通について会派勉強会	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
26	会派視察について協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480	〃				
30	小学校施設について現状聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
合計				177	6,549	〃				

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 6 年 2 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	13,320円	氏名	湖東 秀隆

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 6 年 3 月 6 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾

[redacted]

申請額内訳	調査研究費	13,320円	研修費		広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	

日	活動内容	行程	支出項目	私用車 距離	私用車 金額	公共交通機関 金額	有料道路 金額	駐車場 金額	タクシー 金額	備考
1	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
5	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
6	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
13	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
14	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
15	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
20	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
21	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
22	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
28	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
合計				360	13,320					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 6 年 2 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	9,694円	氏名	太田 利実保

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 6 年 3 月 6 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾 [redacted]

申請額内訳	調査研究費	8,214円	研修費		広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	1,480円

日	活動内容	行程	支出項目	私用車		公共交通機関	有料道路	駐車場	タクシー	備考
				距離	金額	金額	金額	金額	金額	
1	公共施設大規模改修について聞き取り	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
13	ペレット工場廃止後の環境について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
15	校庭貯留について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
21	屋外広告物について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
22	まちむらリレーション傍聴	山東～浜名区貴布祢～山東	調査	22	814					
26	会派勉強会（耐震化）	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
29	光ファイバ未整備地域現状聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
合計				262	9,694					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

22

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 6 年 1 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	13,801円	氏名	湖東 秀隆

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 6 年 3 月 7 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾

[redacted]

申請額内訳	調査研究費	12,469円	研修費		広報費		広聴費		要請・陳情費	1,332円	会議費	

日	活動内容	行程	支出項目	私用車 距離	私用車 金額	公共交通機関 金額	有料道路 金額	駐車場 金額	タクシー 金額	備考
5	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	要請	36	1,332					
9	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
12	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
15	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
17	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
18	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
22	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
25	地域要望に関する調査	於呂～新居町～元城～於呂	調査	71	2,627					
27	地域要望に関する調査	於呂～貴布祢～於呂	調査	14	518					
31	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
合計				373	13,801					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明

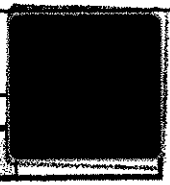
会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 6 年 3 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	14,408円	氏名	湖東 秀隆

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

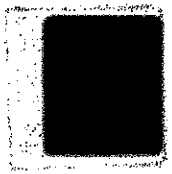
令和 6 年 4 月 3 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾



申請額内訳	調査研究費	14,408円	研修費		広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	

日	活動内容	行程	支出項目	私用車 距離	私用車 金額	公共交通機関 金額	有料道路 金額	駐車場 金額	タクシー 金額	備考
4	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
5	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
6	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
9	地域要望に関する調査	於呂～中央3～於呂	調査	40	1,480			200		
18	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
21	地域要望に関する調査	於呂～舘山寺～於呂	調査	58	2,146					
25	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
26	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
28	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
30	地域要望に関する調査	於呂～細江町～於呂	調査	34	1,258					
合計				384	14,208			200		

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給



浜松市駅北駐車場

領収証

精算機 #03　　A 精算No.000036
発券機 #03　　発券No.031720
入庫時刻　2024年 3月 9日(土) 11:16
精算時刻　2024年 3月 9日(土) 11:58
駐車時間　　0:42
駐車料金　　A料金　　200円

合　計　　200円
(内税10%対象額　　200円)
現金領収額　　200円
お預り　　200円
お釣り　　0円
またのご利用をお待ちしております。

遠鉄アシスト株式会社
登録番号　T9080401000830

写

浜松市駅北駐車場

領収証

精算機 #03　　A 精算No.000036
発券機 #03　　発券No.031720
入庫時刻　2024年 3月 9日(土) 11:16
精算時刻　2024年 3月 9日(土) 11:58
駐車時間　　0:42
駐車料金　　A料金　　200円

合　計　　200円
(内税10%対象額　　200円)
現金領収額　　200円
お預り　　200円
お釣り　　0円
またのご利用をお待ちしております。

遠鉄アシスト株式会社
登録番号　T9080401000830

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 6 年 3 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	16,576円	氏名	本田一利実保 [redacted]

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 6 年 4 月 11 日　会派名　浜松市議会創造浜松　代表者名　遠山将吾 [redacted]

申請額内訳	調査研究費	10,878円	研修費	2,738円	広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	2,960円

日	活動内容	行程	支出項目	私用車 距離	私用車 金額	公共交通機関 金額	有料道路 金額	駐車場 金額	タクシー 金額	備考
1	会派勉強会について協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480	〃				
2	春野町杉急傾斜地現場調査	山東～春野町杉～山東	調査	66	2,442	〃				
4	教職員旅費について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
6	消防団施設・車両統合について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
8	可美公園貯留施設見学	山東～中央区増楽町～山東	研修	52	1,924	〃				
15	春野町自治会要望調査	山東～春野町領家～山東	調査	28	1,036	〃				
15	創造浜松だよりについて協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480	〃				
25	てん茶施設補助金について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
26	普通財産貸付状況聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
27	認知症サポーター講演聴講	山東～浜名区貴布祢～山東	研修	22	814	〃				
29	ローカルフード法について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
合計				448	16,576					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

26

令和5年度　政務活動費(費目別内訳)前期分　　研修費

月	日	摘　　要	収入金額	支払金額	累計額	領収書No
6	1	市内及び近接地旅費(5月分)		2,306	2,306	1
9	7	市内及び近接地旅費(6月分)		2,960	5,266	2
	7	市内及び近接地旅費(8月分)		1,480	6,746	3

令和5年度　政務活動費(費目別内訳)後期分　　研修費

月	日	摘　　要	収入金額	支払金額	累計額	領収書No
10	20	市内及び近接地旅費(9月分)		2,960	2,960	1
3	11	市内及び近接地旅費(3月分)		2,738	5,698	2

研　修　費

6，７４６円

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 5 年 5 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	16,810円

氏名	湖東 秀隆

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 5 年 6 月 1 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾 [redacted]

申請額内訳	調査研究費	14,504円	研修費	2,306円	広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費

日	活動内容	行程	支出項目	私用車		公共交通機関	有料道路	駐車場	タクシー	備考
				距離	金額	金額	金額	金額	金額	
2	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
11	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
15	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
17	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
18	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
19	地域要望に関する調査	於呂～篠ケ瀬町～於呂	調査	30	1,110					防災ボランティアの件 本会議と別
20	地域要望に関する調査	於呂～豊保～中瀬～於呂	調査	10	370					道路改良の件
20	地域要望に関する調査	於呂～貴布祢～於呂	調査	13	481					
20	地域要望に関する調査	於呂～新原～於呂	調査	8	296					農業制度の件
22	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
23	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
25	地域要望に関する調査	於呂～元城～於呂	調査	36	1,332					
27	地域要望に関する調査	於呂～板屋町～於呂	研修	38	1,406			900		花のまちづくり浜松大会拝聴
29	地域要望に関する調査	於呂～元城～名塚～於呂	調査	43	1,591					国土交通省浜松河川道路事務所
合計				430	15,910			900		

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

アクトシティ駐車場
駐車場管理室
TEL 053(451)0009

領 収 証

入庫日時 2023年05月27日 12時13分
精算日時 2023年05月27日 15時04分
No.02-000111 券No.01-035814

駐車料金（区分01） 900円

料金計 900円

投入現金 1,000円
釣銭額 100円

写

アクトシティ駐車場
駐車場管理室
TEL 053(451)0009

領 収 証

入庫日時 2023年05月27日 12時13分
精算日時 2023年05月27日 15時04分
No.02-000111 券No.01-035814

駐車料金（区分01） 900円

料金計 900円

投入現金 1,000円
釣銭額 100円

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 5 年 6 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	20,572円	氏　名	太田　利実保

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 5 年 9 月 7 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾 [redacted]

申請額内訳	調査研究費	12,728円	研修費	2,960円	広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	4,884円

日	活動内容	行程	支出項目	私用車		公共交通機関	有料道路	駐車場	タクシー	備考
				距離	金額	金額	金額	金額	金額	
2	補正予算要望について会派協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
5	勉強会、情報政策(光)	山東～元城町～山東	研修	40	1,480					
11	春野小石間隧道被災現場調査	山東～春野町豊岡～山東	会議	52	1,924					
12	中山間地域総合整備事業聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
13	船明区画整理進捗確認(イーステージ)	山東～中区中央～山東	調査	40	1,480					
14	僻地教育実情聞き取り(佐久間中)	山東～佐久間町中部～山東	調査	74	2,738					
16	車椅子ソフトボール会派勉強会(高台協働C)	山東～和合町～山東	研修	40	1,480					全協、本会議とは別 一旦帰宅後 18:00～
20	春野町杉被災現場視察	山東～春野町杉～山東	調査	66	2,442					
22	トライアルオフィス実績聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
23	創造浜松だよりについて会派協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
27	樹木医診断状況確認(南土木)	山東～寺島町～山東	調査	44	1,628					
29	春野未来プロジェクト傍聴(協働C)	山東～春野町杉～山東	調査	40	1,480					
合　計				556	20,572					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 5 年 6 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

申請額	20,572円	氏　名	太田 利実保

令和 5 年 9 月 7 日　会派名　浜松市議会創造浜松　代表者名　遠山将吾

[redacted]

申請額内訳	調査研究費	12,728円	研修費	2,960円	広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	4,884円

日	活動内容	行程	支出項目	私用車		公共交通機関	有料道路	駐車場	タクシー	備考
				距離	金額	金額	金額	金額	金額	
2	補正予算要望について会派協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
5	勉強会、情報政策(光)	山東～元城町～山東	研修	40	1,480					
11	春野小石間隧道被災現場調査	山東～春野町豊岡～山東	会議	52	1,924					
12	中山間地域総合整備事業聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
13	船明区画整理進捗確認(イーステージ)	山東～中区中央～山東	調査	40	1,480					
14	僻地教育実情聞き取り(佐久間中)	山東～佐久間町中部～山東	調査	74	2,738					
16	車椅子ソフトボール会派勉強会(高台協働C)	山東～和合町～山東	研修	40	1,480					全協、本会議とは別
20	春野町杉被災現場視察	山東～春野町杉～山東	調査	66	2,442					
22	トライアルオフィス実績聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
23	創造浜松だよりについて会派協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
27	樹木医診断状況確認(南土木)	山東～寺島町～山東	調査	44	1,628					
29	春野未来プロジェクト傍聴(協働C)	山東～春野町杉～山東	調査	40	1,480					
合　計				556	20,572					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

(2) (4)

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 5 年 8 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	11,026円	氏　名	太田 利実保

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 5 年 9 月 7 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾 [redacted]

申請額内訳	調査研究費	6,586円	研修費	1,480円	広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	2,960円

日	活動内容	行　程	支出項目	私用車		公共交通機関	有料道路	駐車場	タクシー	備　考
				距離	金額	金額	金額	金額	金額	
4	創造浜松だよりについて会派協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
6	勝坂神楽伝承事業視察	山東～春野町豊岡～山東	調査	66	2,442					
23	春野町杉地滑り現地調査	山東～春野町杉～山東	調査	66	2,442					
24	災害対応について会派勉強会	山東～元城町～山東	研修	40	1,480					
25	意見書について会派協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
28	自殺対策等について聞き取り（保健所）	山東～鴨江～山東	調査	46	1,702					
合　計				298	11,026					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

研　修　費

５，６９８円

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 5 年 9 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	8,880円	氏　名	太田 利実保 [redacted]

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 5 年 10 月 20 日　会派名 浜松市議会創造浜松　代表者名 遠山将吾

申請額内訳	調査研究費	4,440円	研修費	2,960円	広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	1,480円

日	活動内容	行　程	支出項目	私用車		公共交通機関	有料道路	駐車場	タクシー	備　考
				距離	金額	金額	金額	金額	金額	
4	県盛り土条例について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
5	メンタルヘルスについて聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
6	不登校について会派勉強会	山東～元城町～山東	研修	40	1,480					
12	空き家対策について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480					
15	少子化対策について会派勉強会	山東～元城町～山東	研修	40	1,480					
22	意見書について会派協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480					
合　計				240	8,880					

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

（様式1）市内・近接地等の旅費申請書兼旅費支払証明書

会派名　浜松市議会創造浜松　　代表者名　遠山将吾　様

下記のとおり、政務活動のため、令和 6 年 3 月分の市内・近接地等の旅費を申請します。

申請額	16,576円	氏名	本田三利実保

会派の政務活動のための経費として、上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 6 年 4 月 11 日　会派名　浜松市議会創造浜松　代表者名　遠山将吾 [redacted]

申請額内訳	調査研究費	10,878円	研修費	2,738円	広報費		広聴費		要請・陳情費		会議費	2,960円

日	活動内容	行程	支出項目	私用車		公共交通機関	有料道路	駐車場	タクシー	備考
				距離	金額	金額	金額	金額	金額	
1	会派勉強会について協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480	〃				
2	春野町杉急傾斜地現場調査	山東～春野町杉～山東	調査	66	2,442	〃				
4	教職員旅費について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
6	消防団施設・車両統合について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
8	可美公園貯留施設見学	山東～中央区増楽町～山東	研修	52	1,924	〃				
15	春野町自治会要望調査	山東～春野町領家～山東	調査	28	1,036	〃				
15	創造浜松だよりについて協議	山東～元城町～山東	会議	40	1,480	〃				
25	てん茶施設補助金について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
26	普通財産貸付状況聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
27	認知症サポーター講演聴講	山東～浜名区貴布祢～山東	研修	22	814	〃				
29	ローカルフード法について聞き取り	山東～元城町～山東	調査	40	1,480	〃				
合計				448	16,576	〃				

※私用車使用の場合、走行距離1キロメートルにつき37円を支給

令和5年度 政務活動費(費目別内訳)前期分　　広報費

月	日	相手先	摘要	支払金額	累計額	領収書No
8	18	二俣新聞販売所	創造だより折込代	40,425	40,425	1
	18	浜松磐田信用金庫	創造だより折込代振込手数料	110	40,535	2
	18	犬居新聞販売所	創造だより折込代	4,125	44,660	3
	18	浜松磐田信用金庫	創造だより折込代振込手数料	110	44,770	4
	24	セイエンプランニング	創造浜松だよりポスティング代	73,645	118,415	5
	24	浜松磐田信用金庫	創造浜松だよりポスティング代振込手数料	330	118,745	6
9	4	浜松中日サービスセンター	創造浜松だより折込代	360,396	479,141	7
	4	浜松磐田信用金庫	創造浜松だより折込代振込手数料	550	479,691	8
	5	アズドアポスト	創造だよりポスティング代	61,710	541,401	9
	5	浜松磐田信用金庫	創造だよりポスティング代振込手数料	330	541,731	10
	5	アズドアポスト	創造だよりポスティング代	76,956	618,687	11
	5	浜松磐田信用金庫	創造だよりポスティング代振込手数料	330	619,017	12
	7	クリエイティブプロジェクトズ	創造だより印刷代	990,000	1,609,017	13
	7	浜松磐田信用金庫	創造だより印刷代振込手数料	330	1,609,347	14
	11	浜松和合郵便局	創造だより郵送代	51,319	1,660,666	15
	11	浜松富塚郵便局	創造だより郵送代	74,971	1,735,637	16
	11	浜松佐藤郵便局	創造だより郵送代	22,484	1,758,121	17
	11	浜松元目郵便局	創造だより郵送代	51,611	1,809,732	18
	11	浜松元目郵便局	創造だより郵送代	2,100	1,811,832	19

令和5年度　政務活動費(費目別内訳)後期分　　広報費

月	日	相手先	摘要	支払金額	累計額	領収書No
1	16	セイエンプランニング	創造浜松だよりポスティング代	73,645	73,645	1
	23	浜松磐田信用金庫	創造浜松だよりポスティング代振込手数	330	73,975	2
	23	浜松和合郵便局	創造だより郵送代	54,239	128,214	3
	23	浜松富塚郵便局	創造だより郵送代	71,613	199,827	4
	23	浜松佐藤郵便局	創造だより郵送代	21,900	221,727	5
	23	浜松元目郵便局	創造だより郵送代	49,202	270,929	6
	23	浜松元目郵便局	創造だより郵送代	2,100	273,029	7
	26	杉森印刷	創造浜松だより印刷代	753,797	1,026,826	8
	26	浜松磐田信用金庫	創造浜松だより印刷代振込手数料	330	1,027,156	9
2	5	アズドアポスト	創造浜松だよりポスティング代	196,867	1,224,023	10
	5	浜松磐田信用金庫	創造浜松だよりポスティング代振込手数	330	1,224,353	11
	5	浜松中日サービスセンター	創造浜松だより折込代	437,349	1,661,702	12
	5	浜松磐田信用金庫	創造浜松だより折込代振込手数料	550	1,662,252	✓ 13

広　報　費

１，８１１，８３２円

政策提言及び補正予算要望

今後の浜松市政の運営に向けて、中野市長以下の浜松市当局幹部職員に対し、政策提言および補正予算の要望を行いました。創造浜松では、人口減少と少子化対策が本市の持続的な発展にとって最大かつ喫緊の課題であると考えています。中野市長も同様の課題意識を持っており、創造浜松の特色を反映した政策提言をさせていただきました。

また、深刻化する災害への対策についても、待ったなしの取り組みが求められています。年度の途中でも実施可能な対策については、できるだけ早く取り組んでいただくよう、予算要望をしました。



以下、主な政策提言・要望事項

❶人口減少・少子化対策について
❷家庭ごみの有料化について
❸豪雨災害への対応について

◎河川カメラの早期改修について／豪雨災害に対する予防施策について
◎区再編に伴う記念イベントの開催助成について
◎コミュニティ担当職員の資質向上について
◎通学路の狭隘箇所の早期解決について
◎新東名高速道路下の貯留施設の供用対応策について
◎地球温暖化防止のための脱炭素移行の促進について
◎不登校児童生徒への対応調査費用について
◎休日の中学校部活動の地域移行を円滑に行うための積極的支援について

会派勉強会

今年度は、本市の課題の掘り起こしをはじめ各事業の新たな取り組みを再確認する中で、会派内の共通認識を深めるために会派メンバーの提案するテーマにより勉強会を実施しております。



◎浜松ウエルネスプロジェクト(5月26日)
予防健康都市の実現に向け、市民の健康増進をはじめ地域企業の健康経営の推進、ヘルスケア産業の創出を目指す現状について

◎人口減少社会における産業人材確保のための取り組み(6月5日)
人口減少・少子高齢化による生産年齢人口の減少を見据えた産業人材確保について

◎障害者車椅子ソフトボール競技について(6月16日)
静岡リバティーズの代表者から、競技内容の説明を受けるとともに、認知度向上や練習会場の確保の課題についてなど意見交換

◎雨水貯留施設について(6月21日)
昨年9月と本年6月に発生した豪雨災害の状況を踏まえた中での課題と今後の雨水対策について

今後も勉強会を重ね、政策提言につなげてまいります。

遠山将吾 市政報告



これからの浜松市のために、子たちのために全力で取り組む！

1. 地域の課題

子どもたちへの支援の持続可能性





人口減少・少子化社会では、全ての子どもたちを誰一人取り残すことなく、社会活躍できるように市民協働、地域一丸で育てることが重要です。近年、子ども食堂やフードバントリー、学習支援などが地域に根付いてきました。今年度は、市内の大学で非常勤講師として、学生さんたちへも子どもたちへの支援の重要性を伝えております。

2. 視察報告

車椅子ソフトボール知ってますか？



東京パラリンピック2020を経て機運が高まったパラ・スポーツ。全ての人が、楽しみや健康作りのためにスポーツに取り組める環境作りが大切です。そこで車椅子ソフトボール選手を講師に迎え会派で勉強会をしました。どのような支援が必要か、どう普及していくことが、みなさんの幸せにつながるのか、これからも研鑽を積んでまいります。

3. 協働のあれこれ

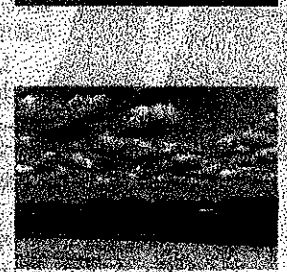
コミュニティスクールコーディネーターの活躍で、子どもたちが地域で学ぶ



浜松市内の小中学校では、コミュニティスクールが本格化しています。各校に配置された地域の事情に精通したコーディネーターの方々が、その地域の特色と人材を活かした事業を展開しています。先日は、私の地域でも、2年生の校外学習のお手伝いをさせてもらいました。活動に参加してくださった地域の大先輩が、「久し振りに、子どもたちとお話ができて元気になった」と言ってくださった気持ちが子どもたちに伝わって、みんな笑顔で幸せな時間を共有できました。

4. 地元トピック

市民協働で取り組む安間川遊水地多目的広場の運用



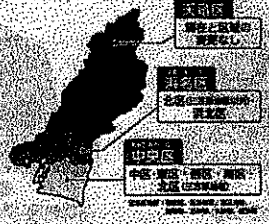
豪雨時の河川の氾濫や浸水被害を抑制するために、安間川に整備された遊水地の東側に多目的広場ができました。これまでは、地域の自治会や有志の皆さんが、草刈りを行なってきましたが、中学生の利用はまだ限定的なものでした。先日開催されました利用委員会で、いよいよ部活動でもこれまで以上の本格的な利用をしていく旨のお話がありました。地域の皆さんのご尽力が報われる時がきました。維持活動を通じて、地域一丸となって子どもたちを応援しています。



様々な形で情報発信しています。是非ご覧ください！

創造浜松 TOPICS

行政区再編に向けて



浜松市は令和6年1月1日から、現在の7つの行政区を3つに再編し、新たな形での市政がスタートします。前期に引き続き、大都市制度・行財政改革特別委員会にて、行政区再編に向けた協議を重ねています。創造浜松では、会派会長の遠山将吾議員が当該特別委員会に所属しています。

再編後も、区協議会の代表会やその下に置かれる地域分科会などを通じて、市民福祉の向上のために最前線で住民自治を支えてくださっている諸団体の代表、または公募委員などを通じて、市民の皆様の声を市政に繋げるための準備をしています。

前期にもお約束しました市民サービスの低下を招かないこと、コミュニティ担当職員を中心に、協働センターを核とした地域コミュニティの支援の充実などはもちろんのこと、デジタル化の進展による市政の効率化やそれに伴うさらなる市民生活の質の向上を目指し、皆様と同じ目線で、引き続き議論を尽くしてまいります。

再編の際には、住所の変更に伴う印刷物やゴム印などの訂正や作り直しなど、皆様には多大なるご迷惑をおかけすることになりますが、今後の浜松市の持続可能な発展のために、何卒、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

「酪農経営の存続に向けた支援を求める意見書」を提出・可決

現在、酪農農家の経営は、大変厳しい状況にあります。酪農従事者の高齢化・後継者不足に加え、新型コロナウイルス感染症の蔓延による生乳受給の不安定化、ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー、穀物の価格高騰、円安の進展等による配合飼料等の高騰等々、三重苦、四重苦の状況です。これに留まらず、国の施策の方針転換にも翻弄されております。

今から1年ほど前に起きたバター不足への対応として、「畜産クラスター事業」など増産に向けての施策が手厚く施されました。今般、ようやくその成果が現れてきたにもかかわらず、現在の供給過多の状況等を理由に、国の酪農経営改善緊急支援事業では施策の方向性が減産に転じられており、酪農農家には戸惑いが広がっています。

このような状況を踏み、本意見書では、国民生活に不可欠な生乳の安定生産に向け、酪農家が安心して経営を存続できるよう、下記の事項について強く要望を致しました。

◎牛乳・乳製品の消費拡大と消費者の理解醸成に向けた取組及び国内生産の牛乳・乳製品の輸出拡大に向けた取組に対し支援すること。
◎配合飼料価格安定制度の適切な運用及び機能強化を図ること。
◎耕畜連携や飼料生産に係る取組及び水田を含めた飼料基盤における自給飼料生産の維持・増産の取組に対し支援すること。



浜松市議会

創造浜松だより

令和5年 夏号

発行所　浜松市議会 会派創造浜松
〒430-0946 浜松市中区元城町103-2
TEL:053-457-2515(代)・FAX:053-457-2516
E-mail:sozo@hamamatsu-shigikai.jp

発行責任者　遠山 将吾
編集責任者　土田 未知
印　　刷　(有)クリエイティブプロジェクト・ズーム

区の再編を契機に元気な浜松市政運営へ



創造浜松 会長　遠山 将吾

日頃から、私たち会派・創造浜松および所属の各議員の活動に対する皆様のご指導とご鞭撻に心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度は、本市にとって重要な転換点です。今年4月に統一地方選挙が行われ、中野祐介新市長が就任されました。市議会議員の顔ぶれも大きく変わりましたが、創造浜松は、前期と同様、5名の所属議員で活動を続けます。

来年には行政区の再編が控えており、皆様には様々な準備にご苦労いただいていることと存じます。まずは、新しい区のスタートである令和6年1月1日を混乱なく迎え、それ以降も市政が滞ることなく、また、行政コストの削減、市民サービスの向上、地域コミュニティに対する市の支援の拡充など、区の再編議論の中でのお約束が守られるよう、引き続き熟議を重ね、結果を出すために努めてまいります。

今年度、創造浜松は、提案力と提言力の向上をテーマに、毎週のように勉強会を開催しています。現場で課題を抱えながら活動をされている当事者・関係者の皆様、そして行政職員の施策についての考え方など、幅広い意見を聞き、新たな知識を吸収することで、市民の皆様に対し最適な解決策を提案できるよう、政策立案能力の向上に取り組んでいます。

今後も、皆様の深いご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

市長あいさつ



浜松市長　中野 祐介

日ごろ、市民の皆様には、浜松市政の推進にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浜松市は、ものづくり産業の集積や多種多様な農林水産物の産出、豊かな自然と温暖で暮らしやすい気候風土、そして人柄に根付くやらまいかの精神と、様々な面で、全国どこにも負けない力や魅力があり、大きなポテンシャルを持つ地域です。

しかしながら、そのような地域であるにもかかわらず、今の浜松は、人口減少、少子化・高齢化が進んでいる状況にあります。

この流れを食い止め、転換を図り、浜松をもっと元気なまちにしていくことが、私に課せられた最大の使命であると考えています。

そのために、まず「浜松から地方創生」に取り組み、「まち」「ひと」「しごと」の創生を一体的・総合的に進めていきます。

この「浜松から地方創生」とともに、いつまでも暮らし続けられる「安全・安心な都市基盤の構築」を併せて進めるとともに、それらを展開するにあたりベースとなる「持続可能な都市・浜松の実現」にも取り組みます。

「まち」「ひと」「しごと」の創生は、行政だけで実現できるものではありません。市民の皆様、企業、議会、行政が連携して同じ方向を目指し、取り組みを進めることが必要となります。浜松の明るい未来を築くた　力を尽くしてまいりますので、今後も皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

浜松市議会

創造浜松

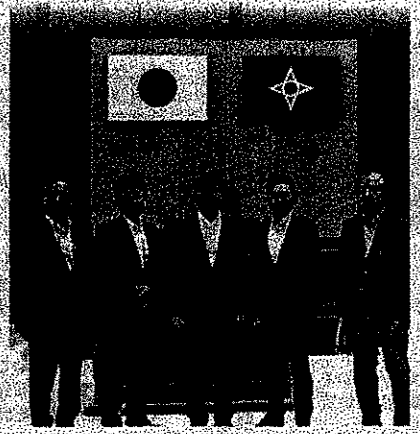


問 イチロー（中区・6期目）

市民・文教委員会 委員長
地方創生特別委員会
浜松市民生委員推薦会
浜松市暴力追放市民協力会

13年前から、少子化対策の施策について議会質問をしてきましたが、一向に好転の兆しが見られません。少子化・人口減少の影響は、様々な分野に及んでいますし、今後も縮小が続きますと取返しのつかない深刻な課題だと考え、様々提案をしてきましたが、一部データには効果の望めない非常に難しい事象です。国の施策も遅々として進まず、その効果も不透明な中、時に合うか不明ですが、是非とも「地方創生」の芽を、夢を、浜松から成果を得たいと思います。

また、身近な課題として、来年1月に新3区となりますが、市民の皆さまの声をお聞きし、今までと変わらない行政サービスの提供に尽力をしてまいります。



2023年7月12日　視察先の姫岡市協会議場にて



遠山 将吾（中区・3期目）

厚生保健委員会
大都市制度・行財政改革特別委員会

4月の統一地方選挙を経え、新たな4年間の任期が始まりました。今年度は、浜松市は大きな転換点を迎えます。来年1月に行政区の再編を控え、フレキシブルな行政運営、市民サービスの向上、地域コミュニティ支援の強化などが期待されております。

本市が、抱えている大きな課題である人口減少対策・少子化対策については待ったなしです。本市の産業構造は、AIなどでは置き換えられない高度な技術を伴った熟練された仕事が多いのが現状です。今後の持続可能な発展のために、浜松市の全ての子どもたちに、明るい未来を示すことができるようにきめ細かい支援を、市民協働で進められるように、子どもたちのための政策に引き続き力を入れてまいります。



湖東 秀隆（浜北区・6期目）

総務委員会
大型公共施設建設特別委員会
浜松市都市計画審議会

来年1月1日より、新たな区での行政運営が始まります。7区から3区への統合は、従前の行政運営において市民の皆様に対して、より良い運営ができますよう取り組んで参ります。

また、近年の気候変動と思われる異常気象により、全国的に想定以上の規模による災害が頻発に発生しております。本市においても、災害を未然に防ぐための現状把握、危機管理体制の充実を図って参ります。

一方少子・高齢化など、様々な課題も山積しておりますが、議員歴27年の経験と方からのご意見を紐く中で、より良いまちづくりを推進して参ります。

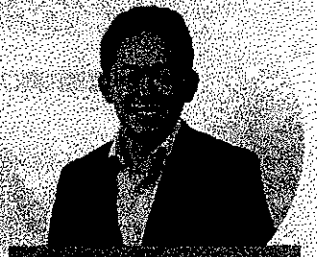


太田 利美保（天竜区・3期目）

建設消防委員会
危機管理・交通政策特別委員会
監査委員

令和6年1月1日、新たな行政区がスタートします。一つの行政区が大きくなり底すが、協働センターを中心に、より一層地域に寄り添う仕組みとなっているか、地域の声を吸い上げるきめ細やかな行政運営となっているかを検証していく大事な時期にあります。また、こうした行政組織の変化に加え、急激に進展するデジタル化など社会全体の変革がもたらすメリットの一方で、弊害はないかということも大切な視点であると思います。

会派創造浜松の一員として、「常に市民目線で、次代を担う子どもたちのために」という理念を胸に行動してまいります。



杉田 晋児（中区・2期目）

環境経済委員会
危機管理・交通政策特別委員会 委員長
議会運営委員会
政務活動研究会委員

今期は、会派、幹事長や特別委員会委員長、議会運営委員会委員と多くの役を担うことになりました。二期目の若輩ですが、任せていただいた先輩諸兄に感謝です。

「頼まれごとは、試されごと」と受け止め、前向きに、日々奮闘しているところです。

会派内はもちろん、他会派や当局との議論、調整が増えますが、丁寧で粘り強い調整を心掛けて参ります。そして、前期に引き続き、「良いものは良い」「悪いものは悪い」その是々非々の姿勢を貫いて参ります。

政策提言及び補正予算要望

今後の浜松市政の運営に向けて、中野市長以下の浜松市当局幹部職員に対し、政策提言および補正予算の要望を行いました。創造浜松では、人口減少と少子化対策が本市の持続的な発展にとって最大かつ喫緊の課題であると考えています。中野市長も同様の課題意識を持っており、創造浜松の特色を反映した政策提言をさせていただきました。

また、深刻化する災害への対策についても、待ったなしの取り組みが求められています。年度の途中でも実施可能な対策については、できるだけ早く取り組んでいただくよう、予算要望をしました。



以下、主な政策提言・要望事項

❶人口減少・少子化対策について
❷家庭ごみの有料化について
❸豪雨災害への対応について

※河川カメラの早期改修について／豪雨災害に対する予防施策について
※区再編に伴う記念イベントの開催助成について
※コミュニティ担当職員の資質向上について
※通学路の狭隘箇所の早期解決について
※新東名高速道路下の貯留施設の供用対応策について
※地球温暖化防止のための脱炭素移行の促進について
※不登校児童生徒への対応調査費用について
※休日の中学校部活動の地域移行を円滑に行うための積極的支援について

会派[illegible]



今年度は、本市の課題の掘り起こしをはじめ各事業の新たな取り組みを再確認する中で、会派内の共通認識を深めるために会派メンバーの提案するテーマにより勉強会を実施しております。

※浜松ウエルネスプロジェクト(5月26日)
予防健康都市の実現に向け、市民の健康増進をはじめ地域企業の健康経営の推進、ヘルスケア産業の創出を目指す現状について

※人口減少社会における産業人材確保のための取り組み(6月5日)
人口減少、少子高齢化による生産年齢人口の減少を見据えた産業人材確保について

※障害者車椅子ソフトボール競技について(6月16日)
静岡リバティーズの代表者から、競技内容の説明を受けるとともに、認知度向上や練習会場の確保の課題についてなど意見交換

※雨水貯留施設について(6月21日)
昨年9月と本年6月に発生した豪雨災害の状況を踏まえた中での課題と今後の雨水対策について

今後も勉強会を重ね、政策提言につなげてまいります。

創造浜松 TOPICS

行政区再編に向けて



浜松市は令和6年1月1日から、現在の7つの行政区を3つに再編し、新たな形での市政がスタートします。前期に引き続き、大都市制度・行財政改革特別委員会にて、行政区再編に向けた協議を重ねています。創造浜松では、会派長の遠山将吾議員が当該特別委員会に所属しています。

再編後も、区協議会の代表会やその下に置かれる地域分科会などを通じて、市民福祉の向上のために最前線で住民自治を支えてくださっている諸団体の代表、または公募委員などを通じて、市民の皆様の声を市政に繋げるための準備をしています。

前期にもお約束しました市民サービスの低下を招かないこと、コミュニティ担当職員を中心に、協働センターを核とした地域コミュニティの支援の充実などはもちろんのこと、デジタル化の進展による市政の効率化やそれに伴うさらなる市民生活の質の向上を目指し、皆様と同じ目線で、引き続き議論を尽くしてまいります。

再編の際には、住所の変更に伴う印刷物やゴム印などの訂正や作り直しなど、皆様には多大なるご迷惑をおかけすることになりますが、今後の浜松市の持続可能な発展のために、何卒、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

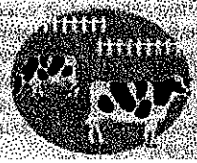
「酪農経営の存続に向けた支援を求める意見書」を提出・可決

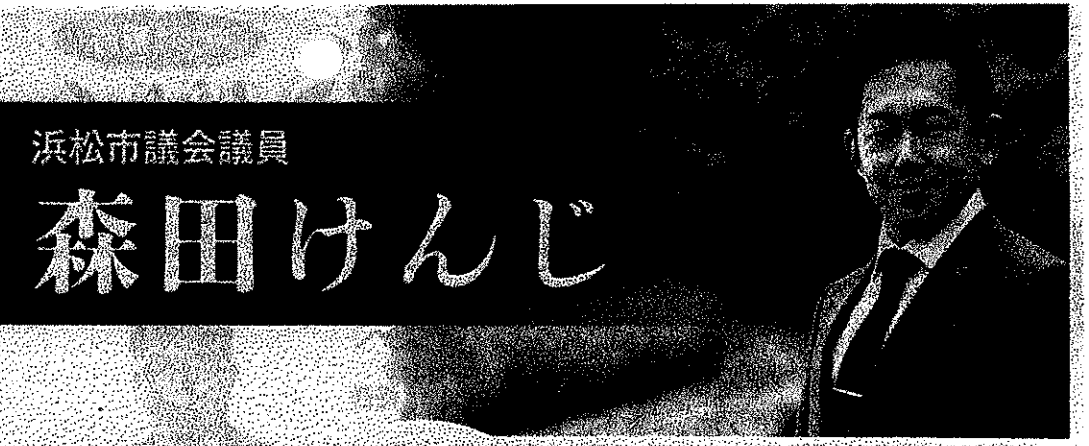
現在、酪農農家の経営は、大変厳しい状況にあります。酪農従事者の高齢化・後継者不足に加え、新型コロナウイルス感染症の蔓延による生乳受給の不安定化、ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー、飼物の価格高騰、円安の進展等による配合飼料等の高騰等々、三重苦、四重苦の状況です。これに留まらず、国の施策の方針転換にも翻弄されております。

今から十年ほど前に起きたバター不足への対応として、「畜産のクラスター事業」など増産に向けての施策が手厚く施されました。今般、ようやくその成果が現れてきたにもかかわらず、現在の供給過多の状況等を理由に、国の酪農経営改善緊急支援事業では施策の方向性が減産に転じられており、酪農農家には戸惑いが広がっています。

このような状況を鑑み、本意見書では、国民生活に不可欠な生乳の安定生産に向け、酪農家が安心して経営を存続できるよう、下記の事項について強く要望を致しました。

❶牛乳・乳製品の消費拡大と消費者の理解醸成に向けた取組及び国内生産の牛乳・乳製品の輸出拡大に向けた取組に対し支援すること。
❷配合飼料価格安定制度の適切な運用及び機能強化を図ること。
❸耕畜連携や飼料生産に係る取組及び水田を含めた飼料基盤における自給飼料生産の維持・増産の取組に対し支援すること。





浜松市議会議員

森田けんじ



2期目の任期にあたり

去る4月に執行されました浜松市議会議員選挙(中区選挙区)におきまして、5892票をいただき再び市議会の一議席を担わせていただくことになりました。選挙戦では、自らに投票を呼び掛ける訴えではなく、次の4年間を託すに相応しい人物を見極めていただくことを一貫して訴えて参りました。

政党の公認・推薦、組織の推薦もない徒手空拳での戦いでしたが、結果として、現職議員が軒並み票を落とす中、前回より1500票以上の票が上積みされたことを重く受け止めております。

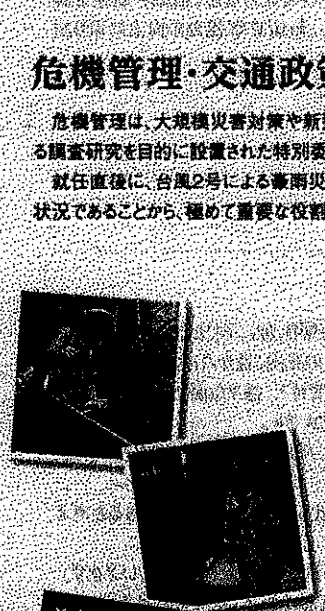
また、再選の高揚感と言うのは直後からありません。それはひとえに、その瞬間から2期目の仕事が始まっているからです。市民生活を思えば、浮かれている暇など1秒たりともありません。

前期に引き続き、一意専心仕事に励んで参ります。

危機管理・交通政策特別委員会 委員長就任

危機管理は、大規模災害対策や新型感染症対策に関する調査研究、交通政策では、交通安全対策を始めとする公共交通に関する調査研究を目的に設置された特別委員会が当委員会です。

就任直後に、台風2号による豪雨災害が発生。全国各地でも災害が頻発をしていること、また、交通事故についても依然として多い状況であることから、極めて重要な役割を帯びております。慎重審議はもちろんのこと、委員長として円滑な運営に努めて参ります。

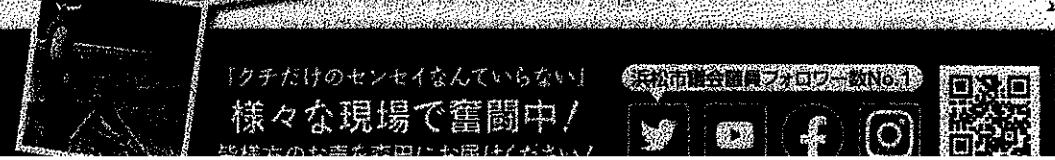


常任委員会は、環境経済委員会

今期、所属する常任委員会は環境経済委員会となりました。前期の前半2年間は、子育て支援や介護・福祉また医療などを取り扱う厚生保健委員会、後半の2年間は、市民部と区役所、教育委員会の事項を取り扱う市民文教委員会に所属をしておりました。

今期、初めて所属する環境経済委員会は、環境部と産業部、農業委員会に属する事項を審議致します。

26歳から小さな会社を経営してきた私にとって、産業分野はとても関心のある分野です。経営者として、現場の意見を提言していきます。



浜松市議会

創造浜松だより

令和5年 夏号

発行所　浜松市議会 会派創造浜松
〒430-0946 浜松市中区元城町103-2
TEL.053-457-2515(代) FAX.053-457-2518
E-mail:sozo@hamamatsu-shigikai.jp
発行責任者　遠山 将吾
編集責任者　北原 知美
印　　刷　(株)クリエイティブプロジェクトズーム

区の再編を契機に元気な浜松市政運営へ



創造浜松 会長　遠山 将吾

日頃から、私たち会派・創造浜松および所属の各議員の活動に対する皆様のご指導とご鞭撻に心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度は、本市にとって重要な転換点です。今年4月に統一地方選挙が行われ、中野祐介新市長が就任されました。市議会議員の顔ぶれも大きく変わりましたが、創造浜松は、前期と同様、5名の所属議員で活動を続けます。

来年には行政区の再編が控えており、皆様には様々な準備にご苦労いただいていることと存じます。まずは、新しい区のスタートである令和6年1月1日を混乱なく迎え、それ以降も市政が滞ることなく、また、行政コストの削減、市民サービスの向上、地域コミュニティに対する市の支援の拡充など、区の再編議論の中でのお約束が守られるよう、引き続き熟議を重ね、結果を出すために努めてまいります。

今年度、創造浜松は、提案力と提言力の向上をテーマに、毎週のように勉強会を開催しています。現場で課題を抱えながら活動をされている当事者・関係者の皆様、そして行政職員の施策についての考え方など、幅広い意見を聞き、新たな知識を吸収することで、市民の皆様に対し最適な解決策を提案できるよう、政策立案能力の向上に取り組んでいます。

今後も、皆様の深いご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

市長あいさつ



浜松市長　中野 祐介

日ごろ、市民の皆様には、浜松市政の推進にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浜松市は、ものづくり産業の集積や多種多様な農林水産物の産出、豊かな自然と温暖で暮らしやすい気候風土、そして人柄に根付くやらまいかの精神と、様々な面で、全国どこにも負けない力や魅力があり、大きなポテンシャルを持つ地域です。

しかしながら、そのような地域であるにもかかわらず、今の浜松は、人口減少、少子化・高齢化が進んでいる状況にあります。

この流れを食い止め、転換を図り、浜松をもっと元気なまちにしていくことが、私に課せられた最大の使命であると考えています。

そのために、まず「浜松から地方創生」に取り組み、「まち」「ひと」「しごと」の創生を一体的・総合的に進めていきます。

この「浜松から地方創生」とともに、いつまでも暮らし続けられる「安全・安心な都市基盤の構築」を併せて進めるとともに、それらを展開するにあたりベースとなる「持続可能な都市・浜松の実現」にも取り組みます。

「まち」「ひと」「しごと」の創生は、行政だけで実現できるものではありません。市民の皆様、企業、議会、行政が連携して同じ方向を目指し、取り組みを進めることが必要となります。浜松の明るい未来を築くため、力を尽くしてまいりますので、今後も皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

浜松市議会

創造浜松

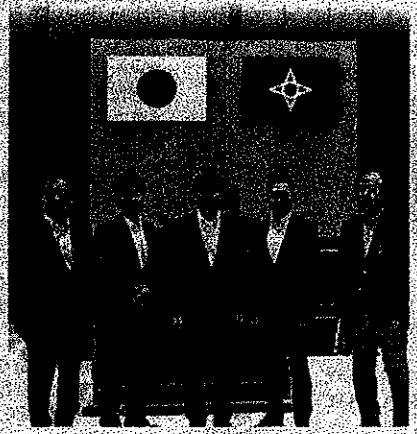


関 イチロー（中区・6期目）

市民・文教委員会 委員長
地方創生特別委員会
浜松市民生委員推薦会
浜松市暴力追放市民協力会

13年前から、少子化対策の施策について議会質問をしてきましたが、一向に好転の兆しが見られません。少子化・人口減少の影響は、様々な分野に及んでいますし、今後も現状が続きますと取返しのつかない深刻な課題だと考え、幅々提案をしてきましたが、一朝一夕には効果の望めない非常に難しい事業です。国の施策も遅々として進まず、その効果も不透明な中、国に合うか不明ですが、是非とも「地方創生」の芽を、実を、浜松から成果を得たいと思います。

また、身近な課題として、来年1月に新3区となりますが、市民の皆さまの声をお聞きし、今までと変わらない行政サービスの提供に尽力をしてまいります。



2023年7月12日　視察先の福岡市議会議場にて



遠山 将吾（中区・3期目）

厚生保健委員会
大都市制度・行財政改革特別委員会

4月の統一地方選挙を経て、新たな4年間の任期が始まりました。今年度は、浜松市は大きな転換点を迎えます。来年1月に行政区の再編を控え、フレキシブルな行政運営、市民サービスの向上、地域コミュニティ支援の強化などが期待されております。

本市が、抱えている大きな課題である人口減少対策・少子化対策については待ったなしです。本市の産業構造は、AIなどでは置き換えられない高度な技術を伴った熟練された仕事が多いのが現状です。今後の持続可能な発展のために、浜松市の全ての子どもたちに、明るい未来を示すことができるようにきめ細かい支援を、市民協働で進められるように、子どもたちのための政策に引き続き力を入れてまいります。



湖東 秀彦（浜北区・6期目）

総務委員会
大型公共施設建設特別委員会
浜松市都市計画審議会

来年1月1日より、新たな区での行政運営が始まります。7区から3区への統合は、従前の行政運営において市民の皆様に対して、より良い運営ができますよう取り組んで参ります。

また、近年の気象変動と思われる異常気象により、全国的に想定以上の雨量による災害が頻繁に発生しております。本市においても、災害を未然に防ぐための現状把握、危機管理体制の充実を図って参ります。

一方少子・高齢化など、様々な課題もありますしておりますが、議員歴27年の経験と方からのご意見を聞く中で、より良いまちづくりを推進して参ります。



太田 利美保（天竜区・3期目）

建設消防委員会
危機管理・交通政策特別委員会
監査委員

令和6年1月1日、新たな行政区がスタートします。一つの行政区が大きくなりますが、協働センターを中心に、より一層地域に寄り添う仕組みとなっているか、地域の声を吸い上げるきめ細やかな行政運営となっているかを検証していく大切な時期にあります。また、こうした行政組織の変化に加え、急速に進展するデジタル化など社会全体の変革がもたらすメリットの一方で、弊害はないかということも大切な視点であると思います。

会派創造浜松の一員として、「常に市民目線で、次代を担う子どもたちのために」という理念を軸に行動してまいります。



鈴田 耀児（中区・2期目）

環境経済委員会
危機管理・交通政策特別委員会 委員長
議会運営委員会
政務活動研究会委員

今期は、会派・幹事長や特別委員会委員長、議会運営委員会委員と多くの役を担うことになりました。二期目の若輩ですが、任せていただいた先輩議員に感謝です。

「頼まれごとは、試されごと」と受け止め、前向きに、日々奮闘しているところです。

会派内はもちろん、他会派や当局との意識・調整が増えますが、丁寧で粘り強い議論を心掛けて参ります。そして、前期に引き続き、「良いものは良い」「悪いものは悪い」その是々非々の姿勢を貫いて参ります。

関イチロー 市政報告



何はさておき、引き続き皆さまの声を市政に届けるパイプ役をさせて頂けます。そして、6期目の『イチロー通信』もお届け出来ますことを嬉しく思います。今まで通り、お気軽にご意見・ご提案を頂戴したく思います。

今春の地方統一選挙では、16年振りに市長の交代がありました。

そこで、新市長の施政方針について、今期初議会で代表質問を行い、今後の市政につき質しましたので、ご報告を申し上げます。

Q 質問　中野市政における財政規律について

本市財政状況は、20政令市中トップクラスであり、前市長の在任16年間において1,300億円の市債の削減などで、行財政改革に取り組んできた成果と言える。

現在の異常気象による大規模災害や世界的な政情不安、国内の財政不確定要素や海外における経済の流動性など、多くの不安定要因が存在しており、それらの影響は、一地方都市にも必ずや、少なからず及んでくるし、現に及んでいる。更に、今後金利が上昇すれば、利払いにも影響が出て、財政運営の重荷となることは避けられない。

それ故の健全財政は堅持する必要があると考えるが、市長の考えと今後の指針について伺う。

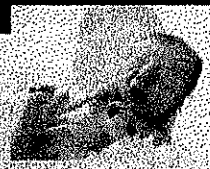
A 中野市長答弁

規律ある財政運営は、不測の事態が生じても市民生活を維持するために、また、持続可能な都市・浜松を実現するためにも、必要不可欠であると認識をしている。

今後、人口減少・少子高齢化を始めとした、指摘の様々な課題があり、より一層厳しい財政状況が予想されるが、しなやかな財政運営に取り組んで行くとともに、歳入の根幹を成す市税の税源涵養、税外収入の増加や新たな財源の確保に務める。

1.16年前の市長交代時には、時の現職市長に前市長が挑んだ選挙戦であり、その際にはマニフェストが掲げられました。今回は、事前にして具体的な施策や数値が見あたりません。そこで、

Q 質問　中野市政における少子化対策について



市長は、今期の初議会初日の挨拶冒頭において、最大の使命として、人口減少・少子化・高齢化への対応を挙げ、並々ならぬ決意を表明された。

私は、13年前の議会質問で少子化による弊害について質問し、その後も少子化対策について一般質問を1回、代表質問5回を行って来た。

その中で、(仮称)人口減少・少子化対策本部の設立を提案したが、その際の答弁は、前市長が陣頭指揮を執る浜松市地方創生推進本部会議において、事業の実効性を高めて行き、プロジェクトチームで対応するとのことであった。

また、その後年の質問で、様々な施策を行ってきたが、人口増に far from できていないことへの指摘については、単独の地方自治体だけでは限界があり、国を挙げての取り組みにより国全体で底上げを図る必要があることから、今後も国と連携し、出生率の上昇に向けて取り組んで行くとの答弁。再質問の具体的な施策についての答弁では、具体的にこれをやったらどうだということがあれば、また提案をいただければと思っている、とのことであった。

国においては、"異次元の少子化対策"と勇ましく旗を掲げ、政府は6月の『骨太方針』策定で少子化対策の大枠を提示するとしているが、財源の提示は本年末に延期され、聞こえてくる話は何とも頼りなく、首相の「若年人口が急減する2030年代に入るまでが、少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンス」と言う発言の緊迫感も、私から見るとズレており、危機感と本気度が疑われる。

市長の本気度について、具体的な施策と目標については何も語っていない。前市長の答弁を踏襲されるのか、新たな施策を打ち出すのか、もし打ち出すとすると具体的にはどの様な施策か、また時期についても伺う。

A 市長答弁

人口減少とりわけ少子化が最も重要な課題の一つだと認識している。

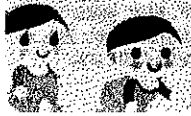
少子化が加速し、人口減少が進行することは、社会全体に影響を及ぼす大きな問題であり、危機感を持って対策に取り組む必要がある。

本市では、これまでも様々な分野において、全庁を挙げて取り組んできた。現在、国では、次元の異なる少子化対策に取り組むとしており、「こども未来戦力方針」に沿って、政府を挙げて取り組みを抜本強化し、少子化傾向を反転させるとしている。

人口減少・少子化は、我が国を挙げて取り組むべき問題で、長期的視野に立った対策を進めて行く必要があり、浜松市としての対策は、地域のニーズや実情を踏まえた施策を展開することが必要である。

こうしたことから、「こども家庭センター」開設による子育て世代への包括的な相談支援のほか、子ども医療費の6歳児までの通院無料化、放課後児童会の充実などに早期に取り組んで行く。

少子化対策連絡会を設置しているが、体制を強化して行く。今後も、できるだけ早期に、悩んでいる市民の結婚や妊娠・出産の希望が叶い、安心して子供を産み育て、こどもが大切にされる、浜松市となるよう尽力して行く。



! イチローの意見

再質問をしました。

少子化対策連絡会を[redacted]強化したところで、関係部署が横並びで、指揮・命令系統がはっきりせず、責任の所在も曖昧で、成果は見込めないと考えるが所見を伺う。

再答弁は、最初の答弁をなぞるだけで、実効性と効果が疑われます。

日本の2022年の合計特殊出生率は、1.26となりました。この数字は、2005年と同じで、17年ぶりの低水準ですが、実態は大きく異なります。2005年の出生数は、106.3万人もあったのですが、同じ合計特殊出生率でも、2022年は約77万人、約28%も減少、人数にして約30万人も減ったことになり、想定より10年ほど早くその現実が訪れました。

明石市の様な、更なる、大きな施策を今すぐに実行しない限りは大変難しいと考えます。

悠長な話をしている場合ではないと感じ、考えています。

Q 質問　中野市政における家庭ごみの有料化について

市長は、多くの市民の参加と協力による"自分ごとの参加型民主主義"を謳っている。

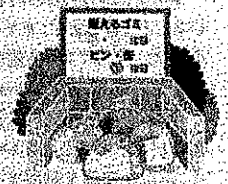
家庭ごみ減量のために有料化をする前に、市民と行政が共に我がごととし、減量の目標値を決め、協力し合い、その目標に向かい力を合わせ、汗をかくことが、真の市民協働の姿ではないかと考える。また、市民と行政の信頼関係に関わることだと捉えている。中野市長の見解と指針を伺う。

A 中野市長答弁

昨年7月から10月にかけて、家庭ごみ有料化制度素案に関する意見募集には、約8,000件の意見をいただいた。

ごみの減量は、市民の参加と協力を得なければ進められず、協働で取り組むことは、大変重要な視点である。有料化は有効な手段であり、処理に係る負担の公平性の確保のメリットもあることから、実施時期については社会経済情勢を考慮しながら慎重に検討する。

! イチローの意見



この答弁についても再質問をしました。

実施時期については、社会経済情勢を考慮してとのことであったが、判断基準について伺う。

この再答弁も、最初の答弁をなぞるだけでした。

ごみの削減は、喫緊の課題と言うより、目的達成のために、市民と対峙したり、溝を作ったりして、施策を進めるべきではないと考えます。市民の意見が反映され、聞き入れてくれたと言う信頼感と、同じ方向に向かい、一緒に汗をかくと言う本来の市民協働の姿がそこあり、それこそが、市民と行政との関係性の向上につながります。市民の皆さまとの信頼関係を重視すべきと考えます。

仮に目標値に達せず、有料化に移行せざるを得なくなった時でも、市民の皆さまには納得感があるでしょうし、ともに同じ高みを目指した経験は決して無駄にはならないはずです。

社会経済情勢の判断基準による無為な時間より、その時間を有為に使用することを考えるべきだと思います。

この他、当初予算や区再編後の区政担当副区長、『オール浜松』・浜松のポテンシャルについて　中野市長に質問をしました。

Q 質問　PTA加入意思確認文書について

PTAは、自治会と同様に任意の団体であるが、今春から始まった学校給食の公会計化が引き金となり、PTA加入を問う文書が複数の学校で配布された。ある学校においては、新入生の5分の1が未加入と回答をしており、大きな驚きを覚えたと共に、"パンドラの箱"を開けてしまったように思い、もっと『熟慮』が必要ではなかったかと考える。

この状況をどの様に捉え、その影響(弊害)と、更には、自治会などの地域への影響についても伺う。

A 教育委員会答弁

PTAは、活動の趣旨に賛同した方々が加入している団体であり、学校の実情に合わせて組織・運営されていると認識している。

自治会等地域への影響については、推測することは困難であるが、来年度の全校導入に向け、コミュニティ・スクールとなって行く。コミュニティ・スクールは、学校と地域で連携・協働しながら、様々な活動を行う。今後も組織的に継続して行く。

! イチローの意見

質問と答弁がかみ合わない結果となってしまったが、そこが問題で、教育委員で構成する教育委員会を活用して、『市長へのご意見箱』にならい、『教育委員会、または教育長へのご意見箱』の設置を提案した。



トピックス

市立小中学校の特別教室の空調整備事業について

まだ、未設置が134校・816教室があります。今後、PFI手法を用いて令和8年度までに実施する予定です。

ご不便をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願い致します。

浜松市議会

創造浜松だより

令和5年 夏号

発行所　浜松市議会 会派創造浜松
〒430-0946 浜松市中区元城町103-2
TEL.053-457-2515(代) FAX.053-457-2516
E-mail:sozo@hamamatsu-shigikai.jp

発行責任者　遠山将吾
編集責任者　太田利実保
印　　刷　(株)クリエイティブプロジェクト・ズーム

区の再編を契機に元気な浜松市政運営へ



創造浜松 会長　遠山 将吾

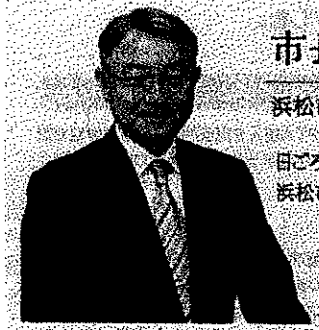
日頃から、私たち会派・創造浜松および所属の各議員の活動に対する皆様のご指導とご鞭撻に心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度は、本市にとって重要な転換点です。今年4月に統一地方選挙が行われ、中野祐介新市長が就任されました。市議会議員の顔ぶれも大きく変わりましたが、創造浜松は、前期と同様、5名の所属議員で活動を続けます。

来年には行政区の再編が控えており、皆様には様々な準備にご苦労いただいていることと存じます。まずは、新しい区のスタートである令和6年1月1日を混乱なく迎え、それ以降も市政が滞ることなく、また、行政コストの削減、市民サービスの向上、地域コミュニティに対する市の支援の拡充など、区の再編議論の中でのお約束が守られるよう、引き続き熟議を重ね、結果を出すために努めてまいります。

今年度、創造浜松は、提案力と提言力の向上をテーマに、毎週のように勉強会を開催しています。現場で課題を抱えながら活動をされている当事者、関係者の皆様、そして行政職員の施策についての考え方など、幅広い意見を聞き、新たな知識を吸収することで、市民の皆様に対し最適な解決策を提案できるよう、政策立案能力の向上に取り組んでいます。

今後も、皆様の深いご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



市長あいさつ

浜松市長　中野 祐介

日ごろ、市民の皆様には、浜松市政の推進にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浜松市は、ものづくり産業の集積や多種多様な農林水産物の産出、豊かな自然と温暖で暮らしやすい気候風土、そして人柄に根付くやらまいかの精神と、様々な面で、全国どこにも負けない力や魅力があり、大きなポテンシャルを持つ地域です。

しかしながら、そのような地域であるにもかかわらず、今の浜松は、人口減少、少子化・高齢化が進んでいる状況にあります。

この流れを食い止め、転換を図り、浜松をもっと元気なまちにしていくことが、私に課せられた最大の使命であると考えています。

そのために、まず「浜松から地方創生」に取り組み、「まち」「ひと」「しごと」の創生を一体的・総合的に進めていきます。

この「浜松から地方創生」とともに、いつまでも暮らし続けられる「安全・安心な都市基盤の構築」を併せて進めるとともに、それらを展開するにあたりベースとなる「持続可能な都市・浜松の実現」にも取り組みます。

「まち」「ひと」「しごと」の創生は、行政だけで実現できるものではありません。市民の皆様、企業、議会、行政が連携して同じ方向を目指し、取り組みを進めることが必要となります。浜松の明るい未来を築くために力を尽くしてまいりますので、今後も皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

浜松市議会

創造浜松

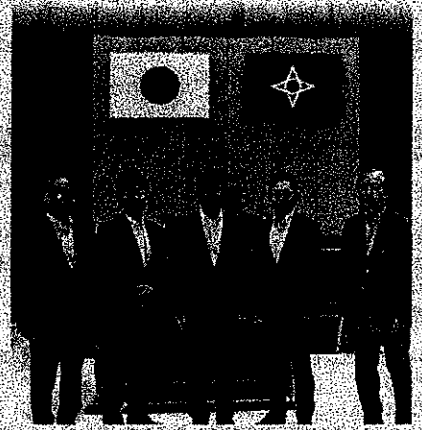


関 イチロー（中区・6期目）

市民・文教委員会 委員長
地方創生特別委員会
浜松市民生委員推薦会
浜松市農力適放市民協力会

13年前から、少子化対策の施策について議会質問をしてきましたが、一向に好転の兆しが見られません。少子化、人口減少の影響は、様々な分野に及んでいますし、今後も減少が続きますと取返しのつかない深刻な課題だと考え、強く提案をしてきましたが、一朝一夕には効果の望めない非常に難しい事案です。国の施策も遅々として進まず、その効果も不透明な中、時に合うが不明ですが、是非とも「地方創生」の芽を、実を、浜松から成果を得たいと思います。

また、身近な課題として、来年1月に新3区となりますが、市民の皆さまの声をお聞きし、今までと変わらない行政サービスの提供に尽力をしてまいります。



2023年7月12日　視察先の盛岡市議会議場にて



遠山 将吾（東区・3期目）

厚生保健委員会
大都市制度・行財政改革特別委員会

4月の統一地方選挙を終え、新たな4年間の任期が始まりました。今年度は、浜松市は大きな転換点を迎えます。来年1月に行政区の再編を控え、プレキシブルな行政運営、市民サービスの向上、地域コミュニティ支援の強化などが期待されております。

本市が、抱えている大きな課題である人口減少対策、少子化対策については待ったなしです。本市の産業構造は、AIなどでは置き換えられない高度な技術を伴った熟練された仕事が多いのが現状です。今後の持続可能な発展のために、浜松市の全ての子どもたちに、明るい未来を示すことができるようにきめ細かい支援を、市民協働で進められるように、子どもたちのための政策に引き続き力を入れてまいります。



湖東 秀隆（浜北区・6期目）

総務委員会
大型公共施設建設特別委員会
浜松市都市計画審議会

来年1月1日より、新たな区での行政運営が始まります。7区から3区への統合は、従前の行政運営において市民の皆様に対して、より良い運営ができますよう取り組んで参ります。

また、近年の気候変動と思われる異常気象により、全国的に想定以上の規模による災害が頻繁に発生しております。本市においても、災害を未然に防ぐための現状把握、危機管理体制の充実を図って参ります。

一方少子・高齢化など、様々な課題も山積しておりますが、議員歴27年の経験と方からのご意見を聞く中で、より良いまくりを推進して参ります。



太田 利実保（天竜区・3期目）

建設消防委員会
危機管理・交通政策特別委員会
監査委員

令和6年1月1日、新たな行政区がスタートします。一つの行政区が大きくなりますが、協働センターを中心に、より一層地域に寄り添う仕組みとなっているか、地域の声を吸い上げるきめ細やかな行政運営となっているかを検証していく大事な時期にあります。また、こうした行政組織の変化に加え、急激に進展するデジタルなど社会全体の変革がもたらすメリットの一方で、弊害はないかということも大切な視点であると思います。

会派創造浜松の一員として、「常に市民目線で、次代を担う子どもたちのために」という理念を軸に行動してまいります。



森田 賢児（中区・2期目）

環境経済委員会
危機管理・交通政策特別委員会 委員長
議会運営委員会
政務活動研究会委員

今期は、会派・幹事長や特別委員会委員長、議会運営委員会委員と多くの役を担うことになりました。二期目の若輩ですが、任せていただいた先輩議員に感謝です。

「頂まれごとは、試されごと」と受け止め、前向きに、日々奮闘しているところです。

会派内はもちろん、他会派や当局との議論、調整が増えますが、丁寧で粘り強い議論を心掛けて参ります。そして、前期に引き続き、「良いものは良い」「悪いものは悪い」その是々非々の姿勢を貫いて参ります。

政策提言及び補正予算要望

今後の浜松市政の運営に向けて、中野市長以下の浜松市当局幹部職員に対し、政策提言および補正予算の要望を行いました。創造浜松では、人口減少と少子化対策が本市の持続的な発展にとって最大かつ喫緊の課題であると考えています。中野市長も同様の課題意識を持っており、創造浜松の特色を反映した政策提言をさせていただきました。

また、深刻化する災害への対策についても、待ったなしの取り組みが求められています。年度の途中でも実施可能な対策については、できるだけ早く取り組んでいただくよう、予算要望をしました。



以下、主な政策提言・要望事項

❶人口減少・少子化対策について
❷家庭ごみの有料化について
❸豪雨災害への対応について

※河川カメラの早期改修について／豪雨災害に対する予防施策について
※区再編に伴う記念イベントの開催助成について
※コミュニティ担当職員の資質向上について
※通学路の狭隘箇所の早期解決について
※新東名高速道路下の貯留施設の共用対応策について
※地球温暖化防止のための脱炭素移行の促進について
※不登校児童生徒への対応調査費用について
※休日の中学校部活動の地域移行を円滑に行うための積極的支援について

会派(　　)会



今年度は、本市の課題の掘り起こしをはじめ各事業の新たな取り組みを再確認する中で、会派内の共通認識を深めるために会派メンバーの提案するテーマにより勉強会を実施しております。

※浜松ウエルネスプロジェクト(5月26日)
予防健康都市の実現に向け、市民の健康増進をはじめ地域企業の健康経営の推進、ヘルスケア産業の創出を目指す現状について

※人口減少社会における産業人材確保のための取り組み(6月5日)
人口減少、少子高齢化による生産年齢人口の減少を見据えた産業人材確保について

※障害者車椅子ソフトボール競技について(6月16日)
静岡リバティーズの代表者から、競技内容の説明を受けるとともに、認知度向上や練習会場の確保の課題についてなど意見交換

※雨水貯留施設について(6月21日)
昨年9月と本年6月に発生した豪雨災害の状況を踏まえた中での課題と今後の雨水対策について

今後も勉強会を重ね、政策提言につなげてまいります。

創造浜松 TOPICS

行政区再編に向けて



浜松市は令和6年1月1日から、現在の7つの行政区を3つに再編し、新たな形での市政がスタートします。前期に引き続き、大都市制度・行財政改革特別委員会にて、行政区再編に向けた協議を重ねています。創造浜松では、会派会長の遠山将吾議員が当該特別委員会に所属しています。

再編後も、区協議会の代表会やその下に置かれる地域分科会などを通じて、市民活動の向上のために最前線で住民自治を支えてくださっている諸団体の代表、または公募委員などを通じて、市民の皆様の声を市政に繋げるための準備をしています。

前期にもお約束しました市民サービスの低下を招かないこと、コミュニティ担当職員を中心に、協働センターを核とした地域コミュニティの支援の充実などはもちろんのこと、デジタル化の進展による市政の効率化やそれに伴うさらなる市民生活の質の向上を目指し、皆様と同じ目線で、引き続き議論を尽くしてまいります。

再編の際には、住所の変更に伴う印鑑物やゴム印などの訂正や作り直しなど、皆様には多大なるご迷惑をおかけすることになりますが、今後の浜松市の持続可能な発展のために、何卒、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

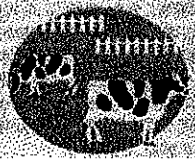
「酪農経営の存続に向けた支援を求める意見書」を提出・可決

現在、酪農農家の経営は、大変厳しい状況にあります。酪農従事者の高齢化・後継者不足に加え、新型コロナウイルス感染症の長期化による生乳受給の不安定化、ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー、飼料の価格高騰、円安の進展等による配合飼料等の高騰等々、三重苦、四重苦の状況です。これに留まらず、国の施策の方針転換にも翻弄されております。

今から十年ほど前に起きた「バター不足」への対応として「畜産クラスター事業」など増産に向けての施策が手厚く施されました。今般、ようやくその成果が現れてきたにもかかわらず、現在の供給過多の状況等を理由に、国の酪農経営改善緊急支援事業では施策の方向性が減産に転じられており、酪農農家には戸惑いが広がっています。

このような状況を鑑み、本意見書では、国民生活に不可欠な生乳の安定生産に向け、酪農家が安心して経営を存続できるよう、下記の事項について強く要望を致しました。

※牛乳・乳製品の消費拡大と消費者の理解醸成に向けた取組及び国内生産の牛乳・乳製品の輸出拡大に向けた取組に対し支援すること。
※配合飼料価格安定制度の適切な運用及び機能強化を図ること。
※耕畜連携や飼料生産に係る取組及び水田を含めた飼料基盤における自給飼料生産の維持・増産の取組に対し支援すること。



防災対策の充実で、安全・安心なまちづくり!

湖東秀隆 市政報告



ご挨拶

今年は梅雨入りの時期が早く例年以上に季節感が前倒しされたようでもあり、気温も年々上昇傾向にあるため、体調管理に十分に注意しなければと感じております。

また、本年6月の豪雨災害では、昨年秋の台風で被災された地区で再度の被害となりましたこと、心よりお見舞い申し上げます。出水期の中でもあり、この先、台風シーズン到来の時期に入りますので、対応が厳しい状況ですが、担当部局へは早急な対応をお願いしております。

新たな4年を与えて頂き感謝申し上げますと共に、さらなる課題解決に向けて初心を忘れず、取り組んで参ります。特に、来年1月1日から「浜名区」となり、エリアも拡大される中におきましても、「浜北」地域の重要性と新たな区、そして本市の発展のために積極的に邁進致しますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

令和5年2月市議会定例会　代表質問　概要

質問　今回の災害は、市内一円様々な災害による被害が発生し、対応に苦慮したと思われる。災害対策会議において課題が抽出され改善策も検討されたが、改善するべき点として、事前・初期対応、発災直後の各機関との調整などについて伺う。


高根神社の土砂崩落現場状況

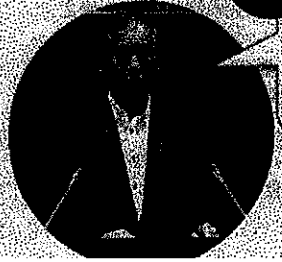
答弁　台風第15号におきましては、監視カメラの映像やSNSの動画投稿などの情報のほか、本市から県浜松土木事務所へ問い合わせ、馬込川及び安間川が越水している可能性があるとの情報も加味して、警戒レベル5の緊急安全確保を発令しております。

一方で、今回の大雨では、道路冠水等の影響により参集できない職員が多く発生し、9月23日の21時以降、相次いで寄せられた被害情報の整理や関係機関との情報共有などに時間を要した事例もございました。

今後におきましては、区役所、消防はもとより、県や警察などの関係機関との連携を密にするとともに、気象に関する情報のさらなる収集に努め、より早い段階で職員の事前配備体制を整えるなど、迅速、的確な災害対応に取り組んでまいります。

その他の質問

- ○次の市長に財政面の見地から期待することについて
- ○期待する大河ドラマへの投資効果について
- ○新市建設計画終了後の対応について
- ○放課後児童会の制度との整合性と今後の環境改善について
- ○放課後等デイサービス等への指導監査体制について
- ○カーボンニュートラルの推進について
- ○過去の浸水被害の発生原因の把握と、地域特性に応じた対策について



様々な形で情報発信しています。是非ご覧ください!

ホームページ　Facebook　Instagram

浜松市議会

創造浜松だより

令和5年 夏号

発行所　浜松市議会 会派創造浜松
〒430-0946 浜松市中区元城町103-2
TEL:053-457-2515(代)　FAX:053-457-2518
E-mail:sozo@kamomatsu-shigikai.jp

発行責任者　遠山将吾
編集責任者　太田利実保
印　　刷　㈱クリエイティブプロジェクトルーム

区の再編を契機に元気な浜松市政運営へ



創造浜松 会長　遠山 将吾

日頃から、私たち会派・創造浜松および所属の各議員の活動に対する皆様のご指導とご鞭撻に心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度は、本市にとって重要な転換点です。今年4月に統一地方選挙が行われ、中野祐介新市長が就任されました。市議会議員の顔ぶれも大きく変わりましたが、創造浜松は、前期と同様、5名の所属議員で活動を続けます。

来年には行政区の再編が控えており、皆様には様々な準備にご苦労いただいていることと存じます。まずは、新しい区のスタートである令和6年1月1日を混乱なく迎え、それ以降も市政が滞ることなく、また、行政コストの削減、市民サービスの向上、地域コミュニティに対する市の支援の拡充など、区の再編議論の中でのお約束が守られるよう、引き続き熟議を重ね、結果を出すために努めてまいります。

今年度、創造浜松は、提案力と提言力の向上をテーマに、毎週のように勉強会を開催しています。現場で課題を抱えながら活動をされている当事者・関係者の皆様、そして行政職員の施策についての考え方など、幅広い意見を聞き、新たな知識を吸収することで、市民の皆様に対し最適な解決策を提案できるよう、政策立案能力の向上に取り組んでいます。

今後も、皆様の深いご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

市長あいさつ



浜松市長　中野 祐介

日ごろ、市民の皆様には、浜松市政の推進にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浜松市は、ものづくり産業の集積や多種多様な農林水産物の産出、豊かな自然と温暖で暮らしやすい気候風土、そして人柄に根付くやらまいかの精神と、様々な面で、全国どこにも負けない力や魅力があり、大きなポテンシャルを持つ地域です。

しかしながら、そのような地域であるにもかかわらず、今の浜松は、人口減少、少子化・高齢化が進んでいる状況にあります。

この流れを食い止め、転換を図り、浜松をもっと元気なまちにしていくことが、私に課せられた最大の使命であると考えています。

そのためにまず「浜松から地方創生」に取り組み、「まち」「ひと」「しごと」の創生を一体的・総合的に進めていきます。

この「浜松から地方創生」とともに、いつまでも暮らし続けられる「安全・安心な都市基盤の構築」を併せて進めるとともに、それらを展開するにあたりベースとなる「持続可能な都市・浜松の実現」にも取り組みます。

「まち」「ひと」「しごと」の創生は、行政だけで実現できるものではありません。市民の皆様、企業、議会、行政が連携して同じ方向を目指し、取り組みを進めることが必要となります。浜松の明るい未来を築くため、力を尽くしてまいりますので、今後も皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

浜松市議会

創造浜松

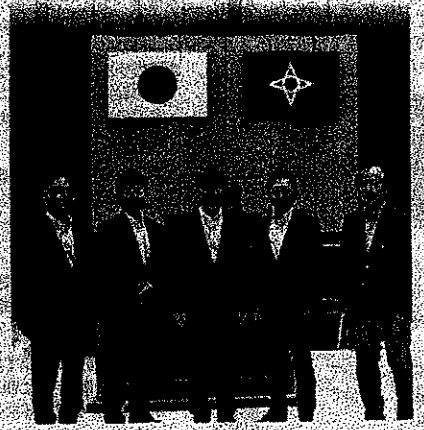


関 イチロー（中区・6期目）

市民・文教委員会 委員長
地方創生特別委員会
浜松市民生委員推薦会
浜松市暴力追放市民協力会

13年前から、少子化対策の施策について議会質問をしてきましたが、一向に好転の兆しが見られません。少子化、人口減少の影響は、様々な分野に及んでいますし、今後も現状が続きますと取返しのつかない深刻な課題だと考え、種々提案をしてきましたが、一朝一夕には効果の望めない非常に難しい事業です。国の施策も遅々として進まず、その効果も不透明な中、間に合うか不明ですが、是非とも「地方創生」の芽を、実を、浜松から成果を得たいと思います。

また、身近な課題として、来年1月に新3区となりますが、市民の皆さまの声をお聞きし、今までと変わらない行政サービスの提供に尽力をしてまいります。



2023年7月12日　視察先の盛岡市議会議場にて



遠山 将吾（中区・3期目）

厚生保健委員会
大都市制度・行財政改革特別委員会

4月の統一地方選挙を終え、新たな4年間の任期が始まりました。今年度は、浜松市は大きな転換点を迎えます。来年1月に行政区の再編を控え、フレキシブルな行政運営、市民サービスの向上、地域コミュニティ支援の強化などが期待されております。

本市が、抱えている大きな課題である人口減少対策、少子化対策については待ったなしです。本市の産業構造は、AIなどでは置き換えられない高度な技術を伴った熟練された仕事が多いのが現状です。今後の持続可能な発展のために、浜松市の全ての子どもたちに、明るい未来を示すことができるようにきめ細かい支援を、市民協働で進められるように、子どもたちのための政策に引き続き力を入れてまいります。



湖東 秀隆（東北区・6期目）

総務委員会
大型公共施設建設特別委員会
浜松市都市計画審議会

来年1月1日より、新たな区での行政運営が始まります。7区から3区への移行は、従前の行政運営において市民の皆様に対して、より良い運営ができますよう取り組んで参ります。

また、近年の異常変動と言われる異常気象により、全国的に想定以上の降雨による災害が頻繁に発生しております。本市においても、災害を未然に防ぐための現状把握、危機管理体制の充実を図って参ります。

一方少子、高齢化など、様々な課題も山積しておりますが、議員歴27年の経験と方からのご意見を聞く中で、より良いまちづくりを推進して参ります。



太田 利実保（天竜区・3期目）

建設消防委員会
危機管理・交通政策特別委員会
監査委員

令和6年1月1日、新たな行政区がスタートします。一つの行政区が大きくなりますが、協働センターを中心に、より一層地域に寄り添う仕組みとなっているか、地域の声を吸い上げるきめ細やかな行政運営となっているかを検証していく大事な時期にあります。また、こうした行政組織の変化に加え、急速に進展するデジタル化など社会全体の変革がもたらすメリットの一方で、弊害はないかということも大切な視点であると思います。

会派創造浜松の一員として、「常に市民目線で、次代を担う子どもたちのために」という理念を胸に行動してまいります。



森田 貴児（中区・2期目）

環境経済委員会
危機管理・交通政策特別委員会 委員長
議会運営委員会
政務活動研究会委員

今期は、会派、神奈長や特別委員会委員長、議会運営委員会委員と多くの役を担うことになりました。二期目の若輩ですが、任せていただいた先輩諸兄に感謝です。

「誠まれごとは、誠ざこと」と受け止め、前向きに、日々勉強しているところです。

会派内はもちろん、他会派や当局との協議、調整が増えますが、丁寧で粘り強い議論を心掛けて参ります。そして、前期に引き続き、「良いものは良い」「悪いものは悪い」その是々非々の姿勢を貫いて参ります。

政策提言及び補正予算要望

今後の浜松市政の運営に向けて、中野市長以下の浜松市当局幹部職員に対し、政策提言および補正予算の要望を行いました。創造浜松では、人口減少と少子化対策が本市の持続的な発展にとって最大かつ喫緊の課題であると考えています。中野市長も同様の課題意識を持っており、創造浜松の特色を反映した政策提言をさせていただきました。

また、深刻化する災害への対策についても、待ったなしの取り組みが求められています。年度の途中でも実施可能な対策については、できるだけ早く取り組んでいただくよう、予算要望をしました。



以下、主な政策提言・要望事項

❶人口減少・少子化対策について
❷家庭ごみの有料化について
❸豪雨災害への対応について

・河川カメラの早期改修について／豪雨災害に対する予防施策について
・区再編に伴う記念イベントの開催助成について
・コミュニティ担当職員の資質向上について
・通学路の狭隘箇所の早期解決について
・新東名高速道路下の貯留施設の供用対応策について
・地球温暖化防止のための脱炭素移行の促進について
・不登校児童生徒への対応調査費用について
・休日の中学校部活動の地域移行を円滑に行うための積極的支援について

会派勉強会

今年度は、本市の課題の掘り起こしをはじめ各事業の新たな取り組みを再確認する中で、会派内の共通認識を深めるために会派メンバーの提案するテーマにより勉強会を実施しております。



◉浜松ウエルネスプロジェクト(5月26日)
予防健康都市の実現に向け、市民の健康増進をはじめ地域企業の健康経営の推進、ヘルスケア産業の創出を目指す現状について

◉人口減少社会における医療人材確保のための取り組み(6月5日)
人口減少、少子高齢化による生産年齢人口の減少を見据えた医療人材確保について

◉障害者車椅子ソフトボール競技について(6月16日)
静岡レバティーズの代表者から、競技内容の説明を受けるとともに、認知度向上や練習会場の確保の課題についてなど意見交換

◉雨水貯留施設について(6月21日)
昨年9月と本年6月に発生した豪雨災害の状況を踏まえた中での課題と今後の雨水対策について

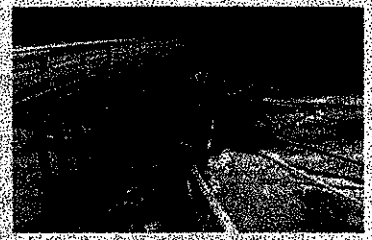
今後も勉強会を重ね、政策提言につなげてまいります。

浜松市議会議員 太田とみは

天竜区の持続なくして浜松市の持続なし!!



豪雨災害への対応



昨年9月23日の台風15号による被害の爪痕が残る中、6月2日から3日にかけて予想を上回る豪雨によって更なる被害が発生し、北区引佐町では土砂崩れに巻き込まれ一人の尊い命が失われました。心からご冥福をお祈りいたします。土砂崩れに起因する建物倒壊は全壊が5件、一部損壊が7件、床上浸水34戸、床下浸水135戸、路肩崩壊等による道路被害は幹線道路も含め数多く発生し、復旧までに長期間を要する箇所もあります。

山間地域では、通行止めによって迂回を余儀なくされる場合、その迂回路が長距離でしかも狭隘な道路であるなど、慣れない道を長時間運転することによるリスクも考えなければなりません。地域バスやスクールバスなど公共交通もストップしますので、普段バスを利用している方の通院や児童生徒の通学にも支障が出ます。道路や橋などインフラの強靭化や治山事業といったハード対策が近年の災害の激甚化に追いつかない状況にあるため、まずは、近くの安全な避難場所を確保すること、そして、通行止めが発生した場合の移動手段の確保などソフト面の対策を確立していくことが重要だと、今回の豪雨災害を受けて改めて感じました。

広大な天竜区では、各地域によって地理的な条件やインフラの状況が異なるため、協働センターやふれあいセンターといった身近な行政機関を中心に、自治会及び自主防災組織の皆さんと迂回路の状況、必要となる生活支援は何か、など話し合っておく必要があるのではないでしょうか。その必要な支援に対して区役所や本庁組織がどのような応援体制が組めるのか、あるいは民間の事業所や団体ができ得る協力は何か、など洗い出しておく必要があると思います。

戦略的な道路整備



道路災害の復旧に向けては、国道、県道、市道(以下、国道等)は土木部が、林道及び農道は産業部がそれぞれ所管し、天竜土木整備事務所の職員50数人、天竜森林事務所の職員10数人で業務にあたっています。国道等の延長距離は約8,500kmあり、その内の約1,700kmが天竜区にあります。全体の約2割と意外に短いなと思われるかもしれませんが、逆に言えば、市域の6割を占める広大な天竜区にして、それしか道路がないとも言えますし、言い換えれば一本の道路の重みが市街地とは比べ物にならないということです。ハード対策がなかなか追いつかない状況にあるとはいえ、その重みを考えれば、路肩や法面を強化するための道路防災工事、橋やトンネルの点検・強靭化を今後も計画的に進めていかなければなりません。

林道は204路線、延長約700kmあります。6月2日の災害時もそうでしたが、生活道路としての国道等の復旧が優先されますので、林道の被災状況の確認がどうしても遅れてしまいます。林道は、林業の生産性向上のために欠かせないインフラであるほか、林道であっても生活道路として活用されていたり、迂回路として活用される場合もあります。

したがって、国道等に加えて林道の被災状況も早期に確認を行い、日常生活への影響を最小限にとどめるべく、林道も含めた被災後の対応策を考える必要があります。ドローンによる被災状況の把握などICTの活用をさらに進めていくこと、また、土木部、産業部の連携によって国道等や林道の区別なく早期の応急対策ができる体制を構築していくことが大切だと考えます。道は繋がっています。国道でも林道でも市民にとって大切な道路には違いありません。こうした観点から、今後も戦略的な整備、維持管理、災害時の体制の構築を要望していきます。

行政区再編に伴う組織改変



市議会5月定例会において中野市長が、来年1月1日の新3区移行に合わせ、天竜区役所内に中山間地域振興を所管する本庁部署を置き、新たに担当課長を配置する方針を示しました。

区政担当の副市長を天竜区役所内に配置することはすでに決まっていましたが、まちづくり事業、交流事業、居住促進、移住促進等を所管する本庁部署が配置されることで、区役所や協働センターとの連携が密となり、機動的で、地域事情に即した施策の展開が期待されます。

創造浜松 TOPICS

行政区再編に向けて



浜松市は令和6年1月1日から、現在の7つの行政区を3つに再編し、新たな形での市政がスタートします。前期に引き続き、大都市制度・行財政改革特別委員会にて、行政区再編に向けた協議を重ねています。創造浜松では、会派会長の遠山将吾議員が当該特別委員会に所属しています。

再編後も、区協議会の代表会やその下に置かれる地域分科会などを通じて、市民福祉の向上のために最前線で住民自治を支えてくださっている諸団体の代表、または公募委員などを通じて、市民の皆様の声を市政に繋げるための準備をしています。

前期にもお約束しました市民サービスの低下を招かないこと、コミュニティ担当職員を中心に、協働センターを核とした地域コミュニティの支援の充実などはもちろんのこと、デジタル化の進展による市政の効率化やそれに伴うさらなる市民生活の質の向上を目指し、皆様と同じ目線で、引き続き議論を尽くしてまいります。

再編の際には、住所の変更に伴う印刷物やゴム印などの訂正や作り直しなど、皆様には多大なるご迷惑をおかけすることになりますが、今後の浜松市の持続可能な発展のために、何卒、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

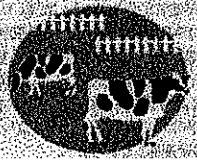
「酪農経営の存続に向けた支援を求める意見書」を提出・可決

現在、酪農農家の経営は、大変厳しい状況にあります。酪農従事者の高齢化・後継者不足に加え、新型コロナウイルス感染症の蔓延による生乳受給の不安定化、ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー、穀物の価格高騰、円安の進展等による配合飼料等の高騰等々、三重苦、四重苦の状況です。これに留まらず、国の施策の方針転換にも翻弄されております。

今から十年ほど前に起きたバター不足への対応として、「畜産クラスター事業」など増産に向けての施策が手厚く施されました。今般、ようやくその成果が現れてきたにもかかわらず、現在の供給過多の状況等を理由に、国の酪農経営改善緊急支援事業では施策の方向性が減産に転じられており、酪農農家には戸惑いが広がっています。

このような状況を鑑み、本意見書では、国民生活に不可欠な生乳の安定生産に向け、酪農家が安心して経営を存続できるよう、下記の事項について強く要望を致しました。

◉牛乳・乳製品の消費拡大と消費者の理解醸成に向けた取組及び国内生産の牛乳・乳製品の輸出拡大に向けた取組に対し支援すること。
◉配合飼料価格安定制度の適切な運用及び機能強化を図ること。
◉耕畜連携や飼料生産に係る取組及び水田を含めた飼料基盤における自給飼料生産の維持・増産の取組に対し支援すること。



ご意見ご要望お寄せください!!

TEL 090-2343-1179 e-mail tomiho@hamamatsu-shigikai.jp

浜松市議会

創造浜松だより

令和5年 夏号

発行所　浜松市議会 会派創造浜松
〒430-0946 浜松市中区元城町 103-2
TEL053-457-2515(代) FAX053-457-2516
E-mail: sozo@hamamatsu-english.jp

発行責任者　遠山 将吾
編集責任者　太田 幸隆保
印　　刷　(有)クリエイティブプロジェクトズーム

区の再編を契機に元気な浜松市政運営へ



創造浜松 会長　遠山 将吾

日頃から、私たち会派・創造浜松および所属の各議員の活動に対する皆様のご指導とご鞭撻に心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度は、本市にとって重要な転換点です。今年4月に統一地方選挙が行われ、中野祐介新市長が就任されました。市議会議員の顔ぶれも大きく変わりましたが、創造浜松は、前期と同様、5名の所属議員で活動を続けます。

来年には行政区の再編が控えており、皆様には様々な準備にご苦労いただいていることと存じます。まずは、新しい区のスタートである令和6年1月1日を混乱なく迎え、それ以降も市政が滞ることなく、また、行政コストの削減、市民サービスの向上、地域コミュニティに対する市の支援の拡充など、区の再編議論の中でのお約束が守られるよう、引き続き熟議を重ね、結果を出すために努めてまいります。

今年度、創造浜松は、提案力と提言力の向上をテーマに、毎週のように勉強会を開催しています。現場で課題を抱えながら活動をされている当事者・関係者の皆様、そして行政職員の施策についての考え方など、幅広い意見を聞き、新たな知識を吸収することで、市民の皆様に対し最適な解決策を提案できるよう、政策立案能力の向上に取り組んでいます。

今後も、皆様の深いご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

市長あいさつ



浜松市長　中野 祐介

日ごろ、市民の皆様には、浜松市政の推進にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浜松市は、ものづくり産業の集積や多種多様な農林水産物の産出、豊かな自然と温暖で暮らしやすい気候風土、そして人柄に根付くやらまいかの精神と、様々な面で、全国どこにも負けない力や魅力があり、大きなポテンシャルを持つ地域です。

しかしながら、そのような地域であるにもかかわらず、今の浜松は、人口減少、少子化・高齢化が進んでいる状況にあります。

この流れを食い止め、転換を図り、浜松をもっと元気なまちにしていくことが、私に課せられた最大の使命であると考えています。

そのために、まず「浜松から地方創生」に取り組み、「まち」「ひと」「しごと」の創生を一体的・総合的に進めていきます。

この「浜松から地方創生」とともに、いつまでも暮らし続けられる「安全・安心な都市基盤の構築」を併せて進めるとともに、それらを展開するにあたりベースとなる「持続可能な都市・浜松の実現」にも取り組みます。

「まち」「ひと」「しごと」の創生は、行政だけで実現できるものではありません。市民の皆様、企業、議会、行政が連携して同じ方向を目指し、取り組みを進めることが必要となります。浜松の明るい未来を築くた[redacted]力を尽くしてまいりますので、今後も皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

浜松市議会

創造浜松

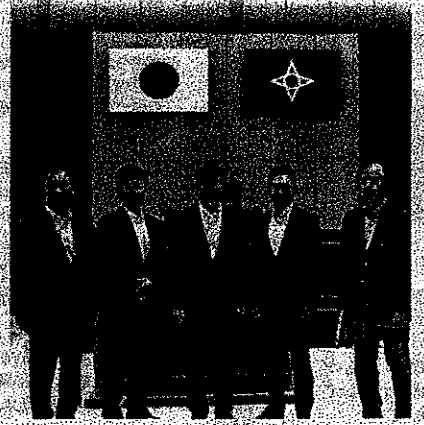


関 イチロー（中区・6期目）

市民・文教委員会 委員長
地方創生特別委員会
浜松市民生委員推薦会
浜松市暴力追放市民協力会

13年前から、少子化対策の施策について議会質問をしてきましたが、一向に好転の兆しが見られません。少子化・人口減少の影響は、様々な分野に及んでいますし、今後も現状が続きますと取返しのつかない深刻な課題だと考え、数々提案をしてきましたが、一朝一夕には効果の現れない非常に難しい政策です。国の施策も遅々として進まず、その効果も不透明な中、国に合うか不明ですが、是非とも「地方創生」の声を、真を、浜松から成果を得たいと思います。

また、身近な課題として、来年1月に新3区となりますが、市民の皆さまの声をお聞きし、今までと変わらない行政サービスの提供に尽力をしてまいります。



2023年7月12日　視察先の盛岡市議会議場にて



遠山 将吾（中区・3期目）

環境保健委員会
大都市制度・行財政改革特別委員会

4月の統一地方選挙を経て、新たな4年間の任期が始まりました。今年度は、浜松市は大きな転換点を迎えます。来年1月に行政区の再編を控え、フレキシブルな行政運営、市民サービスの向上、地域コミュニティ支援の強化などが期待されております。

本市が、抱えている大きな課題である人口減少対策、少子化対策については待ったなしです。本市の産業構造は、AIなどでは置き換えられない高度な技術を伴った熟練された仕事が多いのが現状です。今後の持続可能な発展のために、浜松市の全ての子どもたちに、明るい未来を示すことができるようにきめ細かい支援を、市民協働で進められるように、子どもたちのための政策に引き続き力を入れてまいります。



湖東 秀隆（天北区・5期目）

総務委員会
大型公共施設建設特別委員会
浜松市都市計画審議会

来年1月1日より、新たな区での行政運営が始まります。7区から3区への統合は、従前の行政運営において市民の皆様に対して、より良い運営ができますよう取り組んで参ります。

また、近年の気候変動と思われる異常気象により、全国的に想定以上の雨量による災害が頻繁に発生しております。本市においても、災害を未然に防ぐための現状把握、危機管理体制の充実を図って参ります。

一方少子・高齢化など、様々な課題も[redacted]しておりますが、議員歴27年の経験と方からのご意見を聞く中で、より良いまちづくりを推進して参ります。



太田 利美保（天竜区・3期目）

建設消防委員会
危機管理・交通政策特別委員会
監査委員

令和6年1月1日、新たな行政区がスタートします。一つの行政区が大きくなりますが、協働センターを中心に、より一層地域に寄り添う仕組みとなっているか、地域の声を吸い上げるきめ細やかな行政運営となっているかを検証していく大事な時期にあります。また、こうした行政組織の変化に加え、急速に進展するデジタル化など社会全体の変革がもたらすメリットの一方で、弊害はないかということも大切な視点であると思います。

会派創造浜松の一員として、「常に市民目線で、次代を担う子どもたちのために」という理念を軸に行動してまいります。



鈴田 徹児（中区・2期目）

環境経済委員会
危機管理・交通政策特別委員会 委員長
議会運営委員会
政務活動研究会委員

今期は、会派、幹事長や特別委員会委員長、議会運営委員会委員と多くの役を担うことになりました。二期目の若輩ですが、任せていただいた先輩議員に感謝です。

「頼まれごとは、試されごと」と受け止め、前向きに、日々精進しているところです。

会派内はもちろん、他会派や当局との協議・調整が増えますが、丁寧で粘り強い議論を心掛けて参ります。そして、前期に引き続き、「良いものは良い」「悪いものは悪い」その是々非々の姿勢を貫いて参ります。

広報費

No. 1

《領収書等添付欄》

(1)

領収證

No. 68612

浜松市議会
会派創造浜松 様

令和 5年 8月 18日

1金 40,425

上記金額領収いたしました

収入印紙

但し 消費税(10%) 3,675

2,250枚 @ 5 ¥36,750

折込日 8月 10日

折込先
全域 天竜 (二俣 山東 上阿 下阿 熊 横山 川根) 岩水 野部 (龍山) (西渡) (水窪) (犬居)

浜松市天竜区二俣町鹿島537-19
二俣新聞販売所
電話(053)925-[redacted]
登録番号:T8080402[redacted]

扱者サイン

5.8.2×100×15

(1)' (2)'

写

キャッシュサービス ご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます

浜松いわた信用金庫

05-08-18 [redacted]

1503-[redacted]

000000000000 ¥40,425

支払い

¥110

09:33

425

浜松磐田信用金庫
鹿島支店
ｺﾝﾌﾀﾏﾀｿｳﾌﾟﾝﾊﾝﾊﾞｲｺｳ様
普通 0000070750
ﾊﾔﾏｿｳｷﾞｶｲｼｬｲﾝｸﾘｰﾌﾟﾊﾔﾏｿｳ様
[redacted]

0750

15

印紙税申告納付につき浜松西税務署承認済

ご利用ありがとうございました。

印紙税申告納付につき浜松西税務署承認済

ご利用ありがとうございました。

(2)

支払証明書

金 110円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和5年 8月 18日

浜松市議会創造浜松
会長 遠山 [redacted]

事由・内容等
創造だより折込代振込手数料

広報費

No. 1

《領収書等添付欄》

(1)

領収證

No. 68612

浜松市議会
会派創造浜松 様

令和 5年 8月 18日

1金 40,425

上記金額領収いたしました

収入印紙

但し 消費税（10％） 3,675

2,350枚 @ 5 ¥36,750

折込日 8月 10日

浜松市天竜区二俣町鹿島537-19

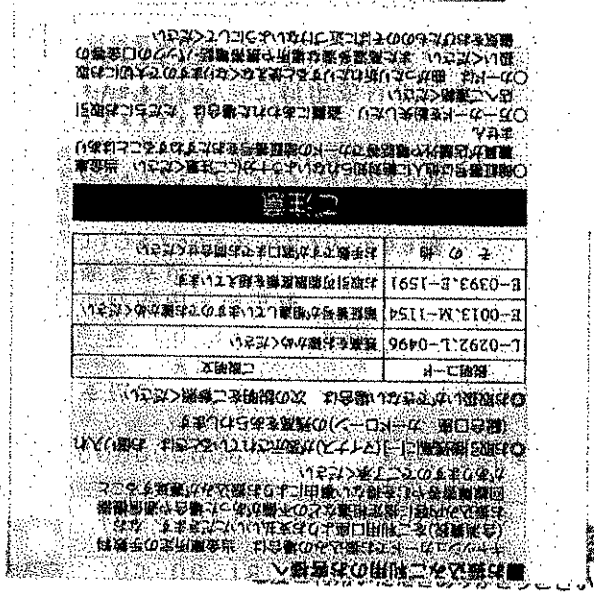
二俣新聞販売所

電話（053）925-[redacted]

登録番号：T8080402[redacted]

扱者サイン

5.8.2×100×15



(1)'(2)'

写

(2)

浜松いわた信用金庫

[redacted]

お取扱日 05-08-18

カード発行金融機関 店番 口座番号

1503-[redacted]

万円券(他)	千円券(他)	二千円券(他)	千円券(他)	お取引金額
00	000	000	000	¥40,425

お取引内容	お取引後残高
支払い	********

手数料	¥110	ページ	確認
時刻	09:33		おつり

ご案内お振込先明細

浜松磐田信用金庫
鹿島支店
ｺｳ)ﾌﾀﾏﾀｿｳﾌﾞﾝﾊﾝﾊﾞｲｼｮ様
普通 0000070750
ﾊﾏﾏﾂｼｷ ｶｲｳﾝ ﾌﾞﾝﾊﾏﾂ様
TEL053457-2515

******
印紙税申告納付につき浜松西税務署承認済

ご利用ありがとうございました。

支払証明書

金 110 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和5年 8月 18日

浜松市議会創造浜松
会長 遠山 [redacted]

事由・内容等

創造だより折込代振込手数料

請　求　書　令和5年 8月14日　No.

浜松市議会
会派創造浜松　様

〒431-[illegible] [illegible]

有限会社 二俣新聞販売所

下記のとおり御請求申し上げます TEL 053-925-2245 F[redacted]

税込合計金額 ¥40,425　税率 %　消費[redacted]

月	日	品名	数量	単価	金額（税抜・税込）	摘要
		1 チラシ折込代	7,250	5	36,750	
		2 税 10%			3,675	
		3				
		4 折込日		（太田とみほ様分）		
		5 8/10				
		6 振込先				
		7 お振込は				
		8 浜松磐田信用金庫 鹿島支店				
		9 普通預金 7 0 7 5 0				
		10 ユ）フタマタクシンブンハンバイショ ㈲ 二俣新聞販売所 までお願いします				
		11				
		12				
		合　計				

コクヨ ウ-22

広報費

No. 2

③

《領収書等添付欄》

領収証

No.

浜松市議会 創造浜松 様

R5 年 8 月 18 日

金額 ¥4,125

内
8%(税込・税抜)金額　消費税額等
/
10%(税込・税抜)金額　消費税額等
/

但 ☑ 折込料 住之間 犬の新聞
□ 飲食料品等(軽減税率対象)
上記正に領収いたしました

現金・カード・(　　)

静岡県浜松市天竜区春野町領家1133番地の4
有限会社 犬居新聞販売所
代表取締役 松下 一[redacted]晴

登録番号 T6-0804-0201-6548

HISAGO #780

③④

写

キャッシュサービス ご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます

浜松いわた信用金庫

05-08-18 [redacted]
1503 [redacted]
000000000000 ¥4,125
支払い ********
¥110
09:33

浜松磐田信用金庫
春野支店
ｺﾚｲﾒｲﾜﾘｮｳﾃﾞﾙﾊﾞﾘｰ 3様
普通 0008150741
ﾊﾏﾏﾂｼ ｶｲｾｲｸﾐｱｲﾏﾁ様
TEL 053457-2515

金額 4,125*
手数料 ***
様 160741
様 2515

****
料金後申告納付につき浜松西税務署承認済

ご利用ありがとうございました

****
付につき浜松西税務署承認済

とう ございました。

④

支払証明書

金　　110 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和5年　8月　18日

浜松市議会創造浜松[redacted]
会長　遠山 将[redacted]

事由・内容等
創造だより折込代振込手数料

広報費

No. 2

《領収書等添付欄》

③

領収証

No.

浜松市議会 創造浜松 様

R5 年 8 月 18 日

金額	¥4,125

但 ☑ 折込料 佐久間 大口とみほ
☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

内
8%(税込・税抜)金額　消費税額等　/
10%(税込・税抜)金額　消費税額等　/

現金・カード・(　　)

天竜区春野町領家1133番地の4
犬居新聞販売
松下一[redacted]
T6-0804-0201-6548

係

③ ④

写

毎度ご利用ありがとうございます

浜松いわた信用金庫

お取扱日	05-08-18
カード発行金融機関 店番	150[redacted]
万券(他)	000
千券(他)	000
百券(他)	000
十券(他)	000
一券(他)	000
お取引金額	¥4,125
お取引内容	支払い
お取引後残高	**********
手数料	¥110
ページ	
硬貨	
おつり	
時刻	09:33

浜松磐田信用金庫
春野支店
ｺﾕ)ｲﾜﾀｲｼﾝﾌﾟﾝﾊﾝﾊﾞｲｼﾞｮ様
普通 0000160741
ﾊﾏﾏﾂｼｼｷﾞｶｲｿｳｿﾞｳﾊﾏﾏﾂ様
TEL053457-2515

ご案内・お振込先明細

****
印紙税申告納付につき浜松西税務署承認済

ご利用ありがとうございました。

④

支払証明書

金　　110 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和5年　8月　18日

浜松市議会創造浜松
会長　遠山 将[redacted]

事由・内容等

創造だより折込代振込手数料

請　求　書

R5年 8月15日　No.

創造派社
大田ヒミコ　様

静岡県浜松市天竜区春野町領家1133番地の4
有限会社 犬居新聞販売
代表取締役 松下 [redacted]

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額 ¥4,125　税率 10%　消費税額等 ¥375

月	日	品名	数量	単価	金額（税抜・税込）	摘要
8	10	1 広告料料	750	5	3750	
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
		9				
		10				
		11				
		12				
		合　計			3750	

コクヨ ウ-322

広報費

No. 3

(5)

《領収書等添付欄》

領収書

発行日 2023年8月24日
領収書番号 20230824-001

創造浜松　様

株式会社 セイエンプランニング
吉村英孝
[redacted]
〒432-8033
静岡県浜松市中区海老塚[redacted]
TEL：053-415-8347
FAX：053-415-8348
登録番号 T4080401024470

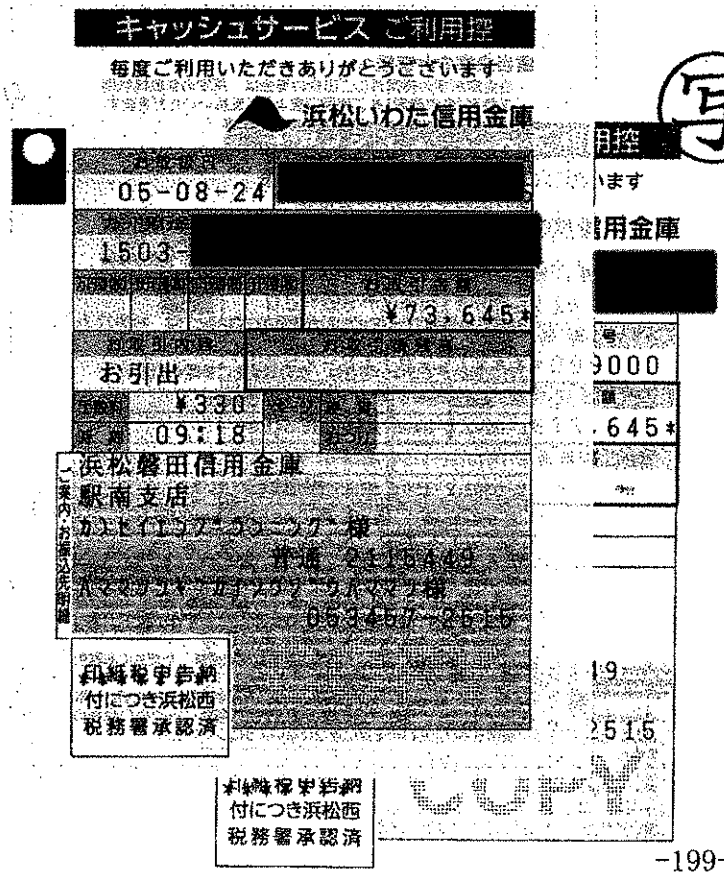
Sayen Planning

合計金額	73,645円
但　創造だよりポスティング	

上記正に領収いたしました。

小計	66,950 円
消費税	6,695 円
(内訳)	
10%対象	66,950円（消費税6,695円）

[redacted]


キャッシュサービス ご利用控
毎度ご利用いただきありがとうございます
浜松いわた信用金庫
05-08-24
[redacted]
1503-
[redacted]
¥73,645*
お引出
¥330
09:18
浜松磐田信用金庫
駅南支店
[redacted]
普通 2116469
[redacted]
[redacted]
利用者番号
付につき浜松西
税務署承認済

写 (5)' (6)'

(6)

支払証明書

金　　330 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和5年　8月　24日

浜松市議会創造浜松[redacted]
会長　遠山 [redacted]

事由・内容等
創造だよりポスティング代振込手数料

広報費

No. 3

⑤

《領収書等添付欄》

領収書

発行日 2023年8月24日
領収書番号 20230824-001

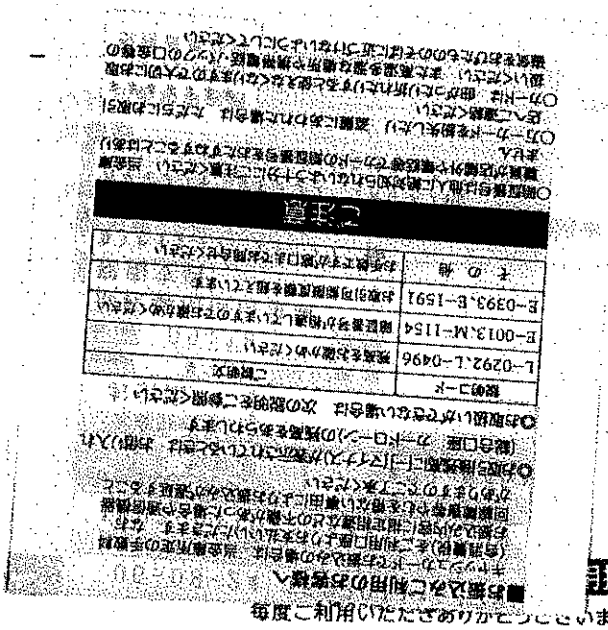
創造浜松　様

株式会社 セイエンプラニング
吉村英孝
〒432-8033
静岡県浜松市中区海老塚1-15-4
TEL：053-415-8347
FAX：053-415-8348
登録番号 T4080401024470

合計金額	73,645円
但　創造だよりポスティング	

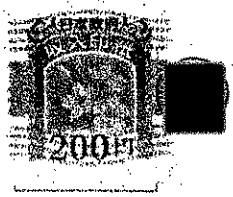
上記正に領収いたしました。

Sayen Planning



写

⑤'
⑥'



浜松いわた信用金庫

お取扱日	05-08-24
カード発行金融機関(店番)	1503-
お取引金額	¥73,645*
お取引内容	お引出
お取引後残高	
手数料	¥330
時刻	09:18

浜松磐田信用金庫
駅南支店
カ)セイエンプ゛ランニング゛様
普通 2115449
ハママツシ゛カイソウソ゛ウハママツ様
053457-2515

印紙税申告納付につき浜松西税務署承認済

COPY

⑥

支払証明書

金　　330 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和5年　8月　24日

浜松市議会創造浜松
会長　遠山

事由・内容等
創造だよりポスティング代振込手数料